アーツ前橋　年報No.01　2013年度（平成25年度）

目　次

目　次
2013年度主要記事 …… 4
Ⅰ　展覧会 …… 6
Ⅰ-1　2013年度展覧会一覧 …… 6
Ⅰ-2　各展覧会の記録 …… 7
（1）プレオープン展示　コレクション＋　からだが語る …… 7
（2）開館記念展　カゼイロノハナ　未来への対話 …… 10
（3）高校生とつくる展覧会　ぷるぷる不発弾 …… 19
（4）Art Meets 01 津上みゆき／狩野哲郎 …… 21
（5）白川昌生　ダダ、ダダ、ダ　地域に生きる想像☆の力 …… 23
Ⅰ-3　2013年度観覧者数一覧 …… 29
Ⅱ　地域アートプロジェクト …… 30
Ⅱ-1　マチリアルプロジェクト …… 30
Ⅱ-2　きぬプロジェクト …… 33
Ⅱ-3　ダイニングプロジェクト　前橋食堂 …… 35
Ⅱ-4　ダイニングプロジェクト　風の食堂 …… 37
Ⅱ-5　ガーデニングプロジェクト …… 39
Ⅱ-6　アーツ前橋シンポジウム　～地域とアートを紡ぐ3日間～ …… 41
Ⅲ　教育普及 …… 43
Ⅲ-1　講演会等 …… 43
（1）市民企画事業 パフォーマンス　in アーツ前橋 …… 43
①パフォーマンス in アーツ前橋　～off-Nibroll～ …… 43
②パフォーマンス in アーツ前橋　～鈴木ユキオ・村田峰紀～ …… 43
（2）アーツ前橋　音楽コンサート　コスモス …… 44
（3）アーツ前橋　開館記念シンポジウム　アートと出会う …… 45
Ⅲ-2　ギャラリーツアー等 …… 46
（1）学芸員によるギャラリーツアー …… 46
（2）ファミリーギャラリーツアー …… 46
（3）アーティストトーク …… 46
（4）カフェトーク …… 46
Ⅲ-3　ワークショップ等 …… 46
Ⅲ-4　アートスクール …… 47
Ⅲ-5　学校教育との連携 …… 48

Ⅲ-6　団体解説 …… 48
Ⅲ-7　出前講座 …… 49
Ⅲ-8　インターンシップ …… 49
Ⅲ-9　サポーター活動記録 …… 49
Ⅲ-10　メンバーシップ …… 51
Ⅲ-11　刊行物 …… 51

Ⅳ　所蔵資料 …… 52
Ⅳ-1　美術作品 …… 52
（1）平成25年度収蔵作品 …… 52
（2）修復 …… 54
Ⅳ-2　図書資料 …… 55

Ⅴ　運営 …… 56
Ⅴ-1　アーツ前橋条例 …… 56
Ⅴ-2　アーツ前橋運営評議会 …… 58
（1）委員 …… 58
（2）アーツ前橋運営評議会開催記録 …… 58
（3）アーツ前橋運営評議会設置要綱 …… 58
Ⅴ-3　アーツ前橋収蔵美術品専門委員会 …… 59
（1）委員 …… 59
（2）前橋市収蔵美術品専門委員会設置要綱 …… 59
Ⅴ-4　寄附 …… 60
Ⅴ-5　職員名簿 …… 61

【凡例】
- 主要掲載記事の「新聞等」および「放送」欄はプレス名の五十音順、「定期刊行物」および「インターネット」欄は掲載日時順で記載した。
- 展覧会出品目録の所蔵先が空欄のものは、前橋市蔵とする。ただし、「高校生とつくる展覧会　ぷるぷる不発弾」の出品目録に関しては、前橋市収蔵品に「前橋市」と記載した。
- 《》は、作品名を示す。
- 参加者等の氏名は、五十音順で記した。

2013年度主要記事

7月 1日　「アーツ前橋の設置及び管理に関する条例」施行
7月 1日　初代館長に住友文彦就任
7月 1日　アーツ前橋運営評議会設置
7月 1日　担当セクションが政策部文化国際課芸術文化推進室からアーツ前橋に改組
7月 4日　プレオープン展示「コレクション＋　からだが語る展」開催（〜9月1日）
7月21日　アートスクールFコース「マエバシ文化発信局」開講（〜9月29日、全5回）
7月25日　プレオープン展示　ワークショップ「背中で語ろう」開催
7月27日　ワークショップ「ダンスで時計」開催（〜8月2日）
7月27日　地域AP：ガーデニング「コンニチハ　ハーブマン！」開催
8月 3日　パフォーマンス公演 off-Nibroll「いつもの時間－the same time as always -」開催
8月22日　プレオープン展示「アートヨガ」開催
8月31日　パフォーマンス公演　鈴木ユキオ「licking the dust」／村田峰紀「ドロー」開催
9月22日、23日　アーツ前橋音楽コンサート「コスモス」開催
10月26日　グランドオープン　開館記念展「カゼイロノハナ　未来への対話」開催（〜1月26日）
10月26日　地域AP：マチリアル「磯部湯活用プロジェクト公開制作」開催（〜12月8日）
10月26日　地域AP：きぬ「作品展示　ファッションの遊び方」開催（〜1月26日）
10月27日　地域AP：きぬ「ワークショップ　ファッションの時間」開催（〜1月19日、全5回）
10月28日　開館記念展「アーティストトーク　笹井あかり、須藤和之、村田峰紀」開催
10月31日　地域AP：ダイニング「キッチンレクチャー」開催（〜11月4日、全3回）
11月 9日　開館記念展「アーティストトーク　加藤アキラ、広瀬智央、ましもゆき」開催
11月 9日　地域AP：ガーデニング「ハーブマンワークショップ」開催
11月10日　開館記念展「カフェトーク　瀬谷ルミ子」＊講師体調不良により中止
11月23日　地域AP：ガーデニング「ハーブマン音楽イベント」開催
11月23日　地域AP：きぬ「ファッショントーク」開催
11月29日　地域AP：きぬ「ファッションの図書館」開催（〜1月26日）
11月29日　音楽イベント「SHARE（シェア）」開催
11月30日　開館記念展「アーティストトーク　牛嶋直子、小泉明郎、山極満博」開催
12月 7日　開館記念展「カフェトーク　池田政治」開催
12月 8日　開館記念展「アーティストトーク　カナイサワコ、木暮伸也、佐藤正幸、白川昌生」開催
12月 8日　地域AP：ダイニング「前橋食堂ワークショップ」開催
12月14日　地域AP：マチリアル「磯部湯活用プロジェクト作品展示」（〜1月26日）
12月15日　地域AP：マチリアル「磯部湯活用プロジェクト磯部湯トーク」開催

平成26年

1月11日　開館記念シンポジウム「アートと出会う」開催

1月18日　地域AP：マチリアル「藤浩志マチ歩きトーク」開催

1月19日　開館記念展「カフェトーク　染谷滋」開催

1月21日　「第4回省エネ・照明デザインアワード」優秀事例施設を受賞

1月22日　前橋市収蔵美術品専門委員会開催

1月25日　地域AP：ダイニング「前橋食堂レシピブックレット刊行記念イベント」開催

2月 8日　高校生とつくる展覧会「ぷるぷる不発弾」開催（～2月16日）

2月14～16日　アーツ前橋シンポジウム「地域とアートを紡ぐ3日間」開催

＊悪天候（大雪）のため15日のプログラムを一部改変、16日は中止

2月16日　高校生向けワークショップ「コミュニティデザイナー山崎亮の出前授業inアーツ前橋」

＊悪天候（大雪）により中止

3月 8日　Art Meets 01 津上みゆき／狩野哲郎」展開催（～6月10日）

3月15日　Art Meets 01 展「スケッチワークショップ　ほぼ津上さん@アーツ前橋」開催

3月15日　「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ　地域に生きる想像☆の力」展開催（～6月15日）

3月16日　白川展「アーティストトーク」開催

3月21日　白川展「学芸員によるギャラリーツアー」開催

3月29日　メンバーシップ交流イベント「Music Live ＆ Party 春－音楽とカフェの時間－」

3月30日　白川展「学芸員によるファミリーギャラリーツアー」開催

Ⅰ 展覧会

Ⅰ-1 2013年度展覧会一覧

展示会名 １．プレオープン展示　コレクション＋　からだが語る
2013年7月4日～9月1日

展示内容　10月26日のアーツ前橋のグランドオープンに先駆け施設の一部（ギャラリー1）を開放して、プレオープン展示を開催した。「コレクション＋」とは、収蔵作品と地域ゆかりの若手作家の作品の間の対話を促す企画として今後シリーズとして開催していく。今回は、身体表現をテーマに、人物が描かれた収蔵作品に加えて、前橋出身の下山直紀（1972年生まれ）の木彫、村田峰紀（1978年生まれ）のインスタレーションで構成した。
展示作品：17点

展示会名 ２．開館記念展　カゼイロノハナ　未来への対話
2013年10月26日～2014年1月26日

展示内容　アーツ前橋の開館記念展として地域にゆかりのある美術作家、文学者、音楽家や科学者などの幅広い分野の人たちが歴史的に積み重ねてきたクリエイティブな仕事を、現代の芸術家たちが再解釈して作り上げた新作や、地域にゆかりある風景を描写した収蔵品等を展示。近代的な合理主義を再考し、震災などの大きな危機を経験した現代社会における新たなアートの役割を模索することで、過去から未来への架け橋になることをテーマとした。
展示作品:84点　コミッションワーク：6点

展示会名 ３．高校生とつくる展覧会ぷるぷる不発弾
2014年2月8日～2月16日

展示内容　「地域とアート」をテーマに、この地域の未来の担い手となる高校生と一緒にワークショップを通じて展覧会を作った。「不発弾」をテーマに、高校生の身の回りの物などと一緒にアーツ前橋の収蔵作品を展示。本展覧会は、群馬県立前橋女子高等学校美術部と群馬大学の協力を得て実現した。
展示作品:24点

展示会名 ４．Art Meets 01 津上みゆき／狩野哲郎
2014年3月8日～6月10日

展示内容　中堅作家2名を紹介する展覧会シリーズ「Art Meets」の第１回を開催。今回は、風景を表現する作家、津上みゆき（1973年生まれ）と狩野哲郎（1980年生まれ）を紹介した。
展示作品:8点

展示会名 ５．白川昌生　ダダ、ダダ、ダ　地域に生きる想像☆の力
2014年3月15日～6月15日

展示内容　1970年にフランス、ドイツに滞在し、1983年の帰国以来、群馬にアトリエを構え、活動をつづける白川昌生（1948年生まれ）の個展を開催した。ヨーロッパ時代に制作されたコンセプト・ノートから本展覧会のための新作までを展示することで、白川のこれまでの活動を網羅的に紹介した。また、白川から影響を受けた若手作家3名にも参加してもらい、白川とのコラボレーション作品も展示した。
展示作品:52点

I-2　各展覧会の記録

（1）アーツ前橋　プレオープン展示コレクション＋　からだが語る

2013年10月のグランドオープンに先駆けて施設の一部を開放して、ギャラリー1で小規模な展覧会を実施した。身体表現をテーマに、人物が描かれた前橋市の収蔵作品に加えて、前橋出身のアーティスト、下山直紀と村田峰紀の創造的な表現を紹介する「コレクション＋」として構成した。

□会　　期:2013年7月4日(木)ー9月1日(日)（展覧会日数　36日）
□開館時間・曜日:木、金、土、日曜日、13時から19時まで
□会　　場:アーツ前橋　ギャラリー１
□観 覧 料:無料
□主　　催:アーツ前橋
□助　　成:平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□出品点数:17点
□入場者数:7,581人
□印刷物

■ポスター　B2判　350部
■チラシ　A4判　12,000部
■会場配布用リーフレット　A4判二つ折り　3,000部
■パネル　主催者あいさつ、作者略歴

□主要関連記事
■新聞等

朝日ぐんま	2013.07.12	ゆかりの作家に焦点「アーツ前橋」プレオープン展示
朝日新聞	2013.07.25	「アーツ前橋」プレオープン　無料公開、撮影もOK　9月1日まで
上毛新聞	2013.06.24	アーツ前橋プレオープン
	2013.07.04	きょうからプレオープン展　アーツ前橋
	2013.07.20	《お知らせ》白いシャツに描こう　前橋
	2013.07.21	アーツ前橋　市民と展望考え合う　来館者を主人公に開館に向けて展望を語る住友館長

2013.07.22　視点オピニオン21　無名の市民が育てる
地域に根ざした文化
2013.08.17　オープン前に収蔵作品展　10月開館予定の「アーツ前橋」
2013.08.29　芸術と日常の対話を　前橋
2013.09.04　芸術が結ぶ人とまち　地域の魅力全国に発信
2013.09.14　視点　オピニオン21　自由な感性に触れて変化するアート

東京新聞　2013.07.04　きょうからプレオープン展示　自分の背に描くアート
毎日新聞　2013.07.05　プレオープン展10月開館のアーツ前橋
読売新聞　2013.07.04　自分の背に描くアート　アーツ前橋で制作
きょうからプレオープン展示

■定期刊行物

りべるて vol.6　2013年6月号　前橋のアートとはなんですか。
Vien（ヴィアン）2013年7月号　No.111　アートと人との出会い　アーツ前橋
美術の窓　8月号　No.359　アーツ前橋・プレオープン企画が開催中

■放送

群馬テレビ　2013.07.04　ニュース
2013.07.09　ニュース
ケーブルテレビJ-COM　2013.07.15から07.21の間に定期的に放送
まえばしCITYエフエム　2013.05.23　Arts My Fire
2013.06.15　アーツなラジオ
2013.07.25　Arts My Fire
2013.08.08　Arts My Fire

□関連事業

（1）村田峰紀の《背中で語ろう》

日時：2013年7月25日（木）14時から16時　地下ギャラリー
内容：出品作家の村田峰紀とともに、言葉にできない思いや感覚をTシャツの背中にクレヨンで描いた。小学1、2、3年生を対象とした。
参加者数：27名

（2）アーティスト・トーク

日時：2013年8月11日（日）14時から15時30分　カフェスペース
内容：出品作家の下山直紀、村田峰紀がアーティストになったきっかけや、自身の作品について話した。
参加者数：約30名

（3）アートヨガ

日時：2013年8月22日（木）19時から21時　地下ギャラリー
内容：ヨガインストラクターの渋木さやかを講師に作品からイメージしたヨガをおこなった。
参加者数：27名

（4）写真で語る・ことばで語る

日時：会期中
内容：アーツ前橋のコンセプト「みんなで共有すること」を実現するため、展覧会場での写真撮影を許可し、来場者が感じたことなどを画像とともにFacebookページで発信してもらう取り組みを行った。

□担当：辻瑞生

【出品目録】コレクション＋　からだが語る

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
1	久保繁造	秋果	1942年	カンバス、油彩	90.7×72.5cm	
2	中村節也	画室	1932年	カンバス、油彩	170×219cm	
3	南城一夫	描く人	1968年	カンバス、油彩	88.5×108cm	
4	清水刀根	犬とラッパと2人の人物		カンバス、油彩	130.4×89.7cm	
5	中村節也	弾琴	1972年	カンバス、油彩	97.4×194.4cm	
6	中村節也	百姓	1931年	カンバス、油彩	130.5×162.5cm	
7	清水刀根	アトリエの裸婦	1930年	カンバス、油彩	112.2×145.8cm	
8	田中青坪	裸婦（A）	1956年	紙本、彩色	107.8×135.8cm	
9	横堀角次郎	自画像	1916年	板、油彩	45.4×37.8cm	
10	南城一夫	ブルターニュの楽士	1972年	カンバス、油彩	32×40.9cm	
11	中村節也	私は見ている	1954年	カンバス、油彩	90.7×65.2cm	
12	近藤嘉男	タンプル区の老婆	1965年	カンバス、油彩	52.7×45.5cm	
13	下山直紀	way	2009年	樟、漆、銀箔、彩色	190×160×169cm	作家蔵
14	下山直紀	fact	2013年	樟、油彩	85×35×25cm	作家蔵
15	下山直紀	QUEST	2013年	樟、油彩	87×30×30cm	作家蔵
16	下山直紀	Ivory gate	2008年	樟、漆、彩色	151×25×28cm	作家蔵
17	村田峰紀	My backs	2007-2013年	ミクストメディア	335×330×290cm	作家蔵

（２）開館記念展　カゼイロノハナ　未来への対話

アーツ前橋の開館を記念する本展では、「対話」というテーマのもと、地域にゆかりのある美術作家、文学者、音楽家や科学者など幅広い分野の人たちが歴史的に積み上げてきたクリエイティブな仕事を現代のアーティストたちが再解釈して制作した作品を中心に展示した。震災などの大きな危機を経験した現代社会における新たなアートの役割を模索し、過去から未来への懸け橋となることを目指し、近代洋画、日本画から、戦争画や復興期の作品、前衛美術運動の作家など、地域と関わる作品で近代以降を振り返るような構成にした。1階ギャラリーは広く市民に観覧してもらうため無料とした。

□会　　期：2013年10月26日(土)ー2014年1月26日(日)（展覧会日数　73日）
□開館時間：11時から19時まで
□休 館 日：毎週水曜日、年末年始（12月28日～1月4日）
□会　　場：アーツ前橋　全ギャラリー
□観 覧 料：一般800円　学生600円　高校生以下無料
□主　　催：アーツ前橋
□助　　成：平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□出品点数：84点
□入場者数：26,536人（有料ゾーン6,688人、無料ゾーン26,536人）
□無料日：2013年10月28日（月）群馬県民の日
　　2014年1月11日（土）開館記念シンポジウム

□印刷物
■ポスター　B2判　2,000部
■プレチラシ　2,000部
■チラシ　A4判　50,000部
■会場配布用展示MAP及び作品リスト　A3判四つ折り　10,000部
■会場配布用セルフガイド　A3判四つ折り　2,000部
■図録　日本語／一部英語　2冊組
第１巻：空色の本　12.8×18cm　57頁　『アーツ前橋、はじまる』

内　容：「ご挨拶」　山本龍
「はじめに」　住友文彦
「Maebashi Breathing」　撮影：川瀬一絵
「アーツ前橋、はじまる」　上條桂子
「Special Dialogue　住友文彦×上田壮一」
「未来をつくる、アーツ前橋」　佐藤良明
「展覧会概要」
「開館記念展「カゼイロノハナ　未来への対話」について」　住友文彦
第２巻：風色の本　22.9×18cm　216頁　『カゼイロノハナ　未来への対話』
「ご挨拶」
「作品解説」　住友文彦、辻瑞生、吉田成志、今井朋
「出品リスト」
「風色の芸術」　住友文彦
「美術の街　前橋」　染谷滋
「有村真鐵インタビュー」
「加藤アキラインタビュー」
「前橋美術文化年表」　染谷滋編
「地域アートプロジェクト」
企画・監修：アーツ前橋
編集・執筆：住友文彦＋辻瑞生＋吉田成志＋今井朋[アーツ前橋]／上條桂子
撮影：川瀬一絵、高橋宗正
アートディレクション：原田祐馬[UMA/design farm]
デザイン：廣田碧[UMA/design farm]
制作：押金純士＋則武優＋齊藤美晴[美術出版社]
翻訳：オフィス宮崎
発行：株式会社美術出版社

■パネル　主催者あいさつ、セクション解説文

□主要関連記事

■新聞等

朝日ぐんま	2013.12.27	美術、音楽、文学－前橋の文化を重層的に 開館記念展「カゼイロノハナ」アーツ前橋1月26日まで
朝日新聞	2013.11.20	対話が生み出す表現求め「アーツ前橋」が開館
北日本新聞	2014.03.06	あしたの美術館①
産経新聞	2013.10.26	「アーツ前橋」きょうグランドオープン 市民参加　地元活性化に注目
	2014.01.29	前橋初の市立美術館「アーツ前橋」 地域密着が好評　3カ月で2万6000人
上毛新聞	2013.10.19	三山春秋
	2013.10.24	「アーツ前橋」26日グランドオープン 芸術の過去、未来融合
	2013.10.24	のぼり旗200本　中心街彩る　前橋
	2013.10.25	渋滞、混雑を懸念　アーツ前橋あす開館
	2013.10.26	50作家　多様な芸術　アーツ前橋　きょう開館
	2013.10.26	アーツ前橋　きょうオープン　市民の表現　発信支援

館長　住友文彦さん

2013.11.02　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展
牛嶋直子、南城一夫

2013.11.02　芸術で世代間“対話”「アーツ前橋」
開館記念展「カゼイロノハナ」

2013.11.04　三山春秋

2013.11.09　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展2
ましもゆき、髙橋常雄

2013.11.10　視点オピニオン21　生きる上で必要なもの

2013.11.16　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展3
佐藤正幸、萩原恭次郎

2013.11.23　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展4
小野田賢三、井上武士

2013.11.28　アーツ前橋開館1カ月　来館者1万2000人突破
街中彩る回遊拠点に

2013.11.30　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展5
白川昌生、高木仁三郎

2013.12.05　三山春秋

2013.12.07　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展6
カナイサワコ、角田金五郎

2013.12.08　週刊風っ子　風っ子探検隊
アーツ前橋「魔法のメガネ」で作品見学

2013.12.14　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展7
木暮伸也、清水刀根

2013.12.21　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展8
八木隆行、猪谷六合雄

2013.12.27　「アーツ前橋」開館　市民とにぎわい創出

2013.12.28　回顧2013年美術　にぎわい生む企画続々

2014.01.12　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展9
須藤和之、髙橋常雄

2014.01.18　先人と創る　アーツ前橋　カゼイロノハナ展10
小泉明郎

2014.01.20　三山春秋

2014.01.23　歩行者数、前橋商店街17%増
アーツ前橋、景気上向きで

2014.03.26　語る　美術館の存在理由

東京新聞　2013.11.22　アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ」
市民との対話通じ文化共有

毎日新聞　2014.01.08　美術：アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ」
「新時代」つくる意志

2014.01.20　アーツ前橋　開放的なまちなか美術館

読売新聞　2013.10.05　芸術鑑賞で心豊かな生活

2013.10.26　芸術を身近に　アーツ前橋きょう開館

2013.10.27　アーツ前橋開館

2013.11.27　芸術「対話」の１カ月アーツ前橋来館1万2000人
住友館長に聞く
2013.12.14　十人十色　芸術にふれて

■定期刊行物

raifu（ライフ）vol.94	前橋の街中に美術館がOPEN！？
日経アーキテクチュア 2013 8-10 第1005号	公共建築、攻めのスリム化 縮小を魅力に変える15のヒント “お荷物施設”を発信拠点に再生
KJ　2013.08	アーツ前橋　水谷俊博建築設計事務所
新建築　2013.09　第88巻11号	旧民間商業施設を市立美術館へコンバージョン アーツ前橋
新美術新聞　10月11日号	アーツ前橋10月26日にオープン
地域創造　2013 Autumn vol.34	元商業施設をコンバージョンした美術館が市民とともにまちなか再生に挑む 群馬県前橋市アーツ前橋
FMG MONTHLY RECO　2013.11.	アートが街にやってくる
Deli-J（デリジェイ）11月号　Vol.149	アーツ前橋　グランドオープン
地域創造レター　11月号　No.223	アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ未来への対話」
商工まえばし　2013.11 No.507	特集アーツ前橋　GRAND OPEN
ヴァンサンカン　2013年12月号　411号	「カゼイロノハナ　未来への対話」
月刊建設　第57巻　第11号	前橋市　商業施設をコンバージョンして 芸術文化施設（美術館）に　アーツ前橋
Vien（ヴィアン）2013年12月号　No.116	美術の魅力を知る
旅の手帳　2013年12月号	街の中心に美術館　アーツ前橋オープン
上州文化　第136号	【特集】ぐんま　ミュージアム散歩 市街地に生まれた芸術文化の発信拠点「アーツ前橋」
美術手帖　2013年12月号「ART　NAVI」	新美術館が前橋市に誕生
美術の窓　2013年12月号　No.363	「視点」アーツ前橋オープンによせて
法人群馬　2014年1月24日発行　No.89	アーツ前橋が、昨年10月26日にグランドオープンしました。
足利漫我人　2014年1月2月号　Vol.326	今月の美術館　アーツ前橋
AXIS　2月号　vol.167	リニューアルで生まれ変わった二つの美術館
地域創造レター　2月号　No.226	アーツ前橋　2013年10月26日オープン

■放送

NHK前橋支局	2013.10.16　ニュース640
NHK教育	2013.12.22　日曜美術館　アートシーン
エフエムぐんま	2013.10.23
群馬テレビ	2013.11. 7　ニュース
まえばしCITYエフエム	2013.09.26　Arts My Fire
	2013.10.19　アーツなラジオ

■インターネット

ART iT　アーツ前橋がグランドオープン
artscape　美術館・アート情報　美術作品による歴史との対話　アーツ前橋

開館記念展　「カゼイロノハナ」　フォーカス

comos-tv　11月15日放送　展覧会のかたち
「アーツ前橋開館記念展　カゼイロノハナ　未来への対話」

COLOCAL　マガジンハウス　Local Network Magazine
ローカルアートレポート　No.49　アーツ前橋

CINRA　前橋の新たな芸術文化拠点アーツ前橋、開館祝う地域密着の記念展

□関連事業

（1）オープニング

日時：2013年10月26日（土）10時45分から11時10分

内容：市立第一中学校音楽部による「カゼイロノハナ」の合唱で幕開けした。

（2）記念パレード

日時：2013年10月26日（土）13時から14時

内容：市立前橋高校吹奏楽部と前橋マンドリン楽団による演奏で、ダンサーの山賀ざくろ、地元バレエ教室生徒らがアーツ前橋周辺の中心商店街をパレードした。

（3）アーティスト・トーク

内容：対話をテーマに作品制作した本展出品作家およびコミッションワーク制作アーティストが制作背景などを話した。4回実施。

会場：アーツ前橋スタジオ

①笹井あかり（TOKYODEX）、須藤和之、村田峰紀

日時：2013年10月28日（月・群馬県民の日）14時から

参加者数：17名

②加藤アキラ、廣瀬智央、ましもゆき

日時：2013年11月9日（土）14時から

参加者数：46名

③牛嶋直子、小泉明郎、山極満博

日時：2013年11月30日（土）14時から

参加者数：43名

④カナイサワコ、木暮伸也、佐藤正幸、白川昌生

日時：2013年12月8日（日）14時から

参加者数：30名

（4）カフェトーク

内容：アーツ前橋の事業や運営に関わる多彩な著名人によるレクチャー

会場：アーツ前橋内カフェ

①瀬谷ルミ子(認定NPO法人日本紛争予防センター理事長)

日時：2013年11月10日　（日）　15時から17時　※講師体調不良のため中止

②池田政治(本展出品作家、東京藝術大学名誉教授)

日時：2013年12月7日　（土）　15時から17時

テーマ：《やまどりのゆめ》（復刻プリントを本展出品）の制作やワークショップ秘話について

参加者数：38名

③染谷滋(富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館館長)

日時：2013年1月19日　（日）　15時から17時

テーマ：本展カタログエッセイ「美術の街 前橋」では書けなかったことなど、前橋を舞台に行われたさまざまな美術活動について

参加者数：25名

（５）SHARE（シェア）

日時：2013年11月29日（金）19時から20時30分

場所：アーツ前橋内カフェ

内容：出品作家の小野田賢三による音楽イベント。自作の曲を持ち寄り、現代音楽のニューセッションを行った。

参加者数：42名

（６）アーツで生け花

時期：会期中

内容：エントランスの指定された場所に生花などを活け込み、来場者を花でお迎えした。

協力：前橋いけばな作家協会

□参加作家：阿佐美聡草、上原朋洞、大澤民香、大野聖春、岡田正瞳、緒形理文、治田秀和、金髙美映、狩野月京、唐沢宮石、久住洋潮、久保田麻園、小池理真、清水正風、進藤恵春、瀬下理幸、徳安理陽、長谷川春生、蜂巣恵月、福田美峰、堀地千香、柳井具子、涌沢雅雲、鷲尾豊文

□担　　当：住友文彦、辻瑞生、吉田成志、今井朋

【出品目録】開館記念展　カゼイロノハナ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
1	三輪途道	小声で話す	2012年	檜、漆、彩色	60×17×40cm	作家蔵
2	南城一夫	木馬の夜	1957年	カンバス、油彩	100×80.3cm	個人蔵
3	清水刀根	撮影(前橋公園)	1933年	カンバス、油彩	146×112cm	
4	茂木紘一	渡御の列	1980年	カンバス、油彩	145.7×112.5cm	
5	福田貂太郎	噴水の繪	1978年	カンバス、油彩	62.8×91cm	
6	髙橋常雄	お蚕様	1971年	和紙、膠、岩絵具	100.2×100.2cm	
7	髙橋常雄	坂東太郎	1985年	和紙、膠、岩絵具	130×80cm	群馬トヨペット株式会社蔵
8	須藤和之	利根川	2013年	和紙、膠、岩絵具	180×400cm	作家蔵
9	髙橋常雄	れんげつつじ	1960年	和紙、膠、岩絵具	80.3×99.5cm	前橋市寄託
10	ましもゆき	曇花（ドンファン）	2013年	アクリル	280×570cm	作家蔵
11	ましもゆき	蓮華躑躅（レンゲツツジ）	2013年	パネル、紙、インク	91×160cm	作家蔵
12	南城一夫	釣り人	1976年	カンバス、油彩	45.6×33.5cm	
13	牛嶋直子	みずうみ	2013年	パネル、顔料、樹脂膠	112.1×436.5cm	作家蔵
14	山口薫	沼のある牧場	1964年	カンバス、油彩	105.6×255.5cm	
15	横堀角次郎	赤城山	1959年	カンバス、油彩	65.2×91cm	
16-1	清水刀根	雪景	1952年	カンバス、油彩	50×60.6cm	
16-2	清水刀根	雪景（スケッチ）	1952年頃	紙、鉛筆、パステル	30.5×35cm	
17	木暮伸也	物陰	2013年	インクジェットプリント	各43.1×60.5cm 全35点	作家蔵
18	小野田賢三	聞こえる?	2013年	サウンドインスタレーション	可変	作家蔵
19	カナイサワコ	Bio-fragments	2013年	ミクストメディア	可変	作家蔵
20	角田金五郎	ノート類				前橋市立図書館蔵
21	福田貂太郎	赤城山冠雲	1983年	カンバス、油彩	72.9×91.1cm	福田折江氏蔵
22	南城一夫	赤城山(月光)	1979年	カンバス、油彩	54×91cm	
23	反町博彦	雪にあそぶ	1995年	カンバス、油彩	100.4×164.7cm	都丸高志氏蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
24	田中青坪	浅間高原(五)	1980年	和紙、膠、岩絵具	112.1×162.2cm	
25	中村節也	山頂の雲	1956年	カンバス、油彩	130.9×162.2cm	
26	砂盃富男	題不詳	1964年頃	カンバス、油彩、金属ネット	91×116.7cm	個人蔵
27	砂盃富男	題不詳	1964年頃	カンバス、油彩、金属ネット	91×116.7cm	個人蔵
28	塩原友子	漠	1962年	パネル、紙、墨、岩絵具	183.5×552cm	
29	金子英彦	ニッポン'64	1964年	カンバス、アクリル	162×130.3cm	個人蔵
30	金子英彦	予感	1967年	カンバス、アクリル	130.3×162cm	個人蔵
31	金子英彦	退屈する人	1965年	カンバス、アクリル	162×130.3cm	個人蔵
32	加藤アキラ	Space compression-No.3	1965-1969年	ミクストメディア(板、アルミ、油彩)	183×91cm	作家蔵
33	加藤アキラ	REPORT-EA9	1966年	ミクストメディア(板、アルミ、塩ビ、ビス、エナメル)	91×91cm	作家蔵
34	加藤アキラ	EA-28	1966年	ミクストメディア(板、アルミ、塩ビ、ビス、油彩)	90×90cm	作家蔵
35	加藤アキラ	無題	2013年	竹ひご	520×927×238cm	作家蔵
36	加藤アキラ	環	2013年	砂鉄	450(直径)cm	作家蔵
37		NOMOグループ関連資料				個人蔵
38-1	三輪途道	猿を待ってた日	2000年	檜、漆、白土、彩色	41×17×28cm	個人蔵
38-2	三輪途道	猿を待ってた日	2000年	檜、漆、白土、彩色	23×16.5×23cm	新田安紀芳氏蔵 群馬県立館林美術館寄託
39	林哲也	神代欅造線象嵌印箱(じんだいけやきづくりせんぞうがんいんばこ)	2008年	神代欅、黒檀、柘植	25.5×17.2×15.5cm	作家蔵
40	林哲也	楓拭漆線象嵌箱(かえでふきうるしせんぞうがんばこ)	2009年	楓、黒檀	30.5×12.3×17.5cm	作家蔵
41	林哲也	シャム柿飾箱(がきかざりばこ)	2008年	シャム柿、黒檀、柘植、神代欅	25.8×13.3×13.5cm	作家蔵
42	林哲也	神代欅造胴張箱(じんだいけやきづくりどうばりばこ)	2012年	神代欅、黒檀、柘植	25.5×17.5×16.5cm	作家蔵
43		墨画土器	平安時代		4×11.6×11.6cm	前橋市教育委員会蔵
44-1		耳飾りNo29	縄文時代後期から晩期		2(高さ)×4.5(最大幅)cm	前橋市教育委員会蔵
44-2		耳飾りNo32	縄文時代後期から晩期		2.2(高さ)cm	前橋市教育委員会蔵
44-3		耳飾りNo33	縄文時代後期から晩期		2.4×6.8×6.8cm	前橋市教育委員会蔵
44-4		耳飾りNo34	縄文時代後期から晩期		2×2.9×2.9cm	前橋市教育委員会蔵
45	前島美江	ヤーンバスケット	2012年	竹皮	27.5×20×20cm	作家蔵
46	前島美江	盛籠	2012年	竹皮	5.3×37.8×37.8cm	作家蔵
47	前島美江	メロン籠	2013年	竹皮	35(直径)×29(高さ)cm	作家蔵
48-1	谷新一郎	タウトのレストランチェア	2002年	せんの木	86.5×44×46cm	前島美江氏蔵
48-2	前島美江	座面	2009年	竹皮	44×46cm	作家蔵
49	富田文隆	昂揚VI	2007年	欅	136.5×30×54cm	個人蔵
50	富田文隆	昂揚II	1990年	欅	165×54×59cm	個人蔵
51	富田文隆	昂揚VII	2011年	欅	134×32×49cm	小野田明範氏蔵
52		空襲で溶解したガラス銭湯あたご湯の窓ガラス	1945年	ガラス		あたご歴史資料館蔵
53	中村節也	降下図(某国初期パラシューター)	1932-1936年	カンバス、油彩	130.5×162.7cm	
54	中村節也	常在戦場	1941年	カンバス、油彩	60.9×72.9cm	
55	黒田六造	空襲の翌朝(前橋)	1986年	カンバス、油彩	72.8×91cm	
56-1	小見辰男	戦災スケッチ:萩町丸ト付近	1945年	紙、鉛筆、パステル	15.4×20.9cm	前橋市立図書館蔵
56-2	小見辰男	戦災スケッチ:北代田大岸工場焼跡	1945年	紙、鉛筆、パステル	15×19.5cm	前橋市立図書館蔵
56-3	小見辰男	戦災スケッチ:萩町丸ト付近に焼け残ったポンプ	1945年	紙、鉛筆、パステル	11.5×19cm	前橋市立図書館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
56-4	小見辰男	戦災スケッチ：片貝町 五十嵐ガラス店焼跡から 前橋駅方面を見る	1945年	紙、鉛筆、パステル	19.4×17.4cm	前橋市立図書館蔵
56-5	小見辰男	戦災スケッチ：立川町 新昇ホール北側入口	1945年	紙、鉛筆、パステル	19×27.3cm	前橋市立図書館蔵
56-6	小見辰男	戦災スケッチ：妙案寺境内 広瀬川方面から写す	1945年	紙、鉛筆、パステル	16.6×22.6cm	前橋市立図書館蔵
56-7	小見辰男	戦災スケッチ： 右、北川病院の焼トタンの塀、 左、田中医院中央の倉庫の 手前阿部善太郎氏宅跡	1945年	紙、鉛筆、パステル	18×20.7cm	前橋市立図書館蔵
56-8	小見辰男	戦災スケッチ：田町から 東電焼跡を通して 竪町方面を見る	1945年	紙、鉛筆、パステル	19.4×27cm	前橋市立図書館蔵
56-9	小見辰男	戦災スケッチ：北代田大岸工場焼跡	1945年	紙、鉛筆、パステル	19.5×27.2cm	前橋市立図書館蔵
56-10	小見辰男	戦災スケッチ：立川町 妙案寺の西部広瀬川の 右岸にて写す	1945年	紙、鉛筆、パステル	13.2×22.6cm	前橋市立図書館蔵
56-11	小見辰男	戦災スケッチ：東電の 南から西を見る	1945年	紙、鉛筆、パステル	12.6×21cm	前橋市立図書館蔵
57	司修	熱情	1961-1962年	カンバス、油彩	53×45.5cm	作家蔵
58	司修	ノートルダム	1961-1962年	カンバス、油彩	45.5×27.3cm	作家蔵
59	司修	堕天使	1961-1962年	カンバス、油彩	72.7×53cm	作家蔵
60	司修	モルモットの哀詩	1961-1962年	カンバス、油彩	91×65.2cm	作家蔵
61	近藤嘉男	ラ・ボンヌ関連資料				広瀬川美術館蔵
62	近藤嘉男	港のマリア	1950年	カンバス、油彩	130.5×162.2cm	
63	三輪途道	路傍の人	2011年	檜、漆、彩色	40×60×62cm	作家蔵
64	福沢一郎	世相群像	1946年	カンバス、油彩	130.3×162.1cm	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館蔵
65	有村真鐵	明日	1992年	カンバス、油彩	149×228cm	作家蔵
66		宮内文作/上毛愛隣社関連資料				社会福祉法人上毛愛隣社 前橋市総合教育プラザ蔵
67	照屋勇賢	自分にできることをする	2011年	新聞紙	105×177.5×87.5cm	作家/里親蔵
68-1	ペ・ヨンファン	オブジェクト/福島のため息1	2012年	福島で見つけた木片、ギターの部品、パステル	100×36.5×10.5cm	作家蔵
68-2	ペ・ヨンファン	オブジェクト/福島のため息2	2012年	福島で見つけた木片、ギターの部品、パステル	57.5×19.5×7cm	作家蔵
69	村田峰紀	un	2013年	辞書、鉄、木	400×300×300cm	作家蔵
70-1	佐藤正幸	萩原恭次郎『死刑宣告』 ポエトリミックス 「露台より初夏街上を見る」	2013年	デジタル処理、カッティングシート	300×376.3cm	作家蔵
70-2	佐藤正幸	萩原恭次郎『死刑宣告』 ポエトリミックス 「ラスコーリニコフ」	2013年	活版印刷	29.7×21cm	作家蔵 制作協力：広栄社印刷所
70-3	佐藤正幸	萩原恭次郎『死刑宣告』 ポエトリミックス 「ラスコーリニコフ」	2013年	金属活字	29.7×21cm	作家蔵 制作協力：広栄社印刷所
70-4	佐藤正幸	萩原恭次郎『死刑宣告』 ポエトリミックス 「離れてゆく秋」	2013年	活版印刷	21×14.8cm	作家蔵 制作協力：広栄社印刷所
70-5	佐藤正幸	萩原恭次郎『死刑宣告』 ポエトリミックス 「離れてゆく秋」	2013年	金属活字	21×14.8cm	作家蔵 制作協力：広栄社印刷所
70-6	萩原恭次郎	『死刑宣告』	1926年			水と緑と詩のまち前橋文学館蔵
71	池田政治	やまどりのゆめ	2002-2006年 2013年復刻プリント	ボウル紙、インクジェットプリント	250×250cm	制作協力：朝日印刷工業株式会社 朝日企画株式会社
72	横堀艸風	牛	制作年不詳	紙、墨	69×46.8cm	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
73	横堀艸風	告	制作年不詳	紙、墨	95.5×59.5cm	
74	横堀艸風	車	制作年不詳	紙、墨	46×53.5cm	
75	白川昌生	基準ー日本	1994年改変、再制作	トタン、鉄、瓦、粘土	150×240×70cm	北九州市立美術館蔵
76-1	木暮伸也	風景から風景01	2013年	インクジェットプリント	105.7×186.2cm	作家蔵
76-2	木暮伸也	風景から風景02	2013年	インクジェットプリント	105.7×186.2cm	作家蔵
77-1	木暮伸也	鏡田080705	2008年	インクジェットプリント	105.7×144.2cm	作家蔵
77-2	木暮伸也	鏡田110627	2011年	インクジェットプリント	105.7×144.2cm	作家蔵
77-3	木暮伸也	鏡田110805	2011年	インクジェットプリント	105.7×186.2cm	作家蔵
78	小泉明郎	劇場は美しい午後の夢を見る	2010-2013年	ビデオインスタレーション	10分30秒	作家蔵 制作協力:ARTIST' GUILD
79	金井訓志	ケルビムと二人の男（昼）	1990年	カンバス、油彩	194×162cm	株式会社ケア・コスモス蔵
80	金井訓志	！・窓	1999年	カンバス、油彩	194×244cm	作家蔵
81-1	三輪途道	普通のありよう-雅舞蕗	2010年	檜、漆、白土、彩色	80×39×31cm	作家蔵
81-2	三輪途道	普通のありよう-秀真	2009年	檜、漆、白土、彩色	80×38×23cm	桜華書林蔵
81-3	三輪途道	普通のありよう-史野	2009年	檜、漆、白土、彩色	76.5×32.5×18cm	浅野浩氏蔵
81-4	三輪途道	普通のありよう-白希香	2009年	檜、漆、白土、彩色	78.5×37×34cm	新田安紀芳氏蔵
81-5	三輪途道	普通のありよう-陽	2009年	檜、漆、白土、彩色	82×37×23cm	新田安紀芳氏蔵
82		「場所・群馬」関連資料				個人蔵
83	白川昌生	高木仁三郎からはじまる	2013年	フラスコ、紙、本、本棚、机、 映像、電球など	可変	作家蔵
84	八木隆行	モバイルハウス	2013年	木、マジックミラー浴槽	300×270×360cm	作家蔵 制作協力:建材市場

（3）高校生とつくる展覧会　ぷるぷる不発弾

アーツ前橋シンポジウム「地域とアートを紡ぐ3日間」の開催に合わせて、この地域を20年後、30年後に支えてゆくことになる高校生たちに、自分たちの感性を表現する場を提供する試みとして開催した。本展は、高校生・群馬大学・アーツ前橋の協働により、数回にわたるワークショップを重ね、展覧会をつくる初の試みであった。「不発弾」をテーマに、高校生の「いま」を伝える思いを、身の回りの物やアーツ前橋の収蔵作品に託し展示した。テーマづくりと作品選定は高校生が行い、ワークショップの運営に群馬大学教員、展示はアーツ前橋学芸員がサポートして開催。

□会　　期：2014年2月8日(土)ー2月16日(日)（展覧会日数　6日）
※2月15日、16日は雪のため臨時休館

□開館時間：11時から19時まで
□会　　場：アーツ前橋　ギャラリー１
□観 覧 料：無料
□主　　催：アーツ前橋
□出品点数：24点
□入場者数：878人
□印刷物
■チラシ　A5判　2,000部
■パネル　主催者あいさつ、高校生による手書きあいさつ
□主要関連記事
■新聞等
上毛新聞　2014.02.12　はじける感性形に　高校生が展覧会企画
読売新聞　2014.03.08　女子高生の感性と芸術
■放送
まえばしCITYエフエム　2014.01.23　Arts My Fire
2014.02.13　Arts My Fire
2014.02.15　アーツなラジオ
□展覧会開催までに行われたワークショップ
（1）第1回　オリエンテーション
日時：2013年12月25日（水）13時30分から15時30分

（2）第2回　展覧会テーマを考える
日時：2013年12月26日（木）13時30分から15時30分
それぞれが出したキーワードから展覧会テーマ「ぷるぷる不発弾」を決定。
（3）第3回　コンセプトを深める
日時：2013年1月9日（木）16時から17時30分
「不発弾」にまつわる身の回りのものや不発弾から派生する意味について話し合った。
（4）第4回　展示の方法を考える
日時：2013年1月16日（木）16時から18時
（5）展示作業
日時：2013年2月5日（水）16時から18時、2月6日（木）16時から18時、
2月7日（金）16時30分から18時30分

□参加者：小野田藍、粕川実夢、神谷咲、北川真衣、小林千紘、小林史果、坂上綾菜、提橋季枝、芝入光希、須賀茉由子、髙橋萌花、高橋優里花
□担　当：吉田成志、野崎美樹

【出品目録】高校生とつくる展覧会　ぷるぷる不発弾

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
1	神谷　咲	使えなくなったビーズ				
2	清水刀根	二人		カンバス、油彩	60.6×50.2cm	前橋市
3	南城一夫	猫	1960年	カンバス、油彩	45.7×33.5cm	前橋市
4	高橋優里花	幼い頃のバックとぼうし				
5	芝入光希	数学のノート				
6	小林千紘	傷口を隠す白い包帯				
7	小林千紘	不穏な模様の布				
8	共同制作	絆創膏のオブジェ				
9	共同制作	不発弾なもの（写真）				
10	髙橋萌花	真っ白スプーン				
11	須賀茉由子	未使用のレターセット				
12	髙橋常雄	遠野（未完）	1987年	紙、岩彩	149.4×299.5cm	前橋市
13	共同制作	前橋市のマンホール				
14	中村節也	幻のボロブドール（インドネシア）	1982年	カンバス、油彩	182×22cm	前橋市
15	北川真衣	バブルのスカーフ				
16	堤橋季枝	愛らしいたまごの起き上がりこぼし				
17	南城一夫	櫛を使う男（窓辺）	1984年	カンバス、油彩	12.5×17.5cm	前橋市
18	小林史果	友達からもらったカバン				
19	堤橋季枝	可愛過ぎたスカート				
20	粕川実夢	小さなレゴ・ブロック				
21	坂上綾菜	小学校の卒業式で着たブラウス				
22	小野田藍	バレエを習っていた頃のトゥシューズ				
23	笠木　実	演奏者	1993年	カンバス、油彩	145.5×97cm	前橋市
24	神谷　咲	言えなかった言葉を書き込んだノート				

（４）Art Meets　01　津上みゆき／狩野哲郎

さまざまな人がアートに出会い、アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性に触れていただくことを目的に、中堅アーティストを紹介する企画展「Art　Meets」を開催した。初回は、風景をテーマに活動するアーティスト、津上みゆき（1973年生まれ）と狩野哲郎（1980年生まれ）を紹介した。気軽にアート鑑賞をしていただけるように、無料スペースのギャラリー1で展示した。また津上みゆきのスケッチやエスキースをアーカイヴ　に、狩野哲郎の作品の一部を交流スペースに展示した。

□会　　期：2014年3月8日(土)－6月10日(火)（展覧会日数　80日）
□開館時間：11時から19時まで
□会　　場：アーツ前橋　ギャラリー１
□観 覧 料：無料
□主　　催：アーツ前橋
□助　　成：平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□協　　力：ハシモトアートオフィス、YUKA TSURUNO GALLERY
□出品点数：8点
□入場者数：16,170人
□印刷物

■チラシ　A4判　15,000部
■会場配布用展示MAP　A4判　10,000部
■小冊子　日本語　A5版　8頁
内容：「展覧会概要」
「ごあいさつ」
「風景を、残すこと」　津上みゆき
「風景の微分、複合的な蜃気楼」　狩野哲郎
「作家解説」　辻瑞生
企画・発行：アーツ前橋
編集：辻瑞生[アーツ前橋]
撮影：木暮伸也、城戸保
デザイン：IT IS DESIGN

協力：ハシモトアートオフィス

■パネル　主催者あいさつ、作者略歴

□主要関連記事

■新聞等

上毛新聞　2014.03.12　多彩な感性　共演　アーツ前橋で企画展

2014.05.29　芸術と飼育テーマに対談　31日、アーツ前橋

読売新聞　2014.03.10　中堅作家の作品紹介

■定期刊行物

Vien （ヴィアン）No.119 2014.03　Art Meets01 津上みゆき／狩野哲郎

商工まえばし　第513号　津上みゆき　狩野哲郎

■放送

まえばしCITYエフエム　2014.02.27　Arts My Fire

□関連事業

（1）スケッチワークショップ「ほぼ津上さん@アーツ前橋」

日時：2014年3月15日（土）14時から17時

会場：アーツ前橋スタジオ、ほか

内容：出品作家の津上みゆきを講師に、小さなスケッチブックを片手にアーツ前橋の周辺を散策しながら、気にとまった風景やモノなどを観察し、スケッチした。

参加費：500円（スケッチブック、鉛筆代として）

参加者数：12名

（2）「Thank you @RTの日」（サンキューアートの日）参加

日時：2014年3月9日（日）

内容：総合案内で「サンキューアートの日」と言った方、先着30名にアーツ前橋特製クリアファイルをプレゼントした。

配布数：18枚

（3）トークプログラム　狩野哲郎×長倉かすみ[（公財）横浜市緑の協会動物園部]

日時：2014年5月31日（土）14時から16時

会場：アーツ前橋スタジオ

参加者数：16名

□担当：辻瑞生

【出品目録】Art Meets 01 津上みゆき／狩野哲郎

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
1	津上みゆき	View - at 2:05 p.m.,10Mar.,11-12「View - 13 thoughts、2010-2012」	2012年	顔料、アクリル、その他、カンバス	116.7×116.7cm	個人蔵
2	津上みゆき	View - at 1:55 p.m.,17Apr.,11-12「View - 13 thoughts、2010-2012」	2012年	顔料、アクリル、その他、カンバス	116.7×116.7cm	個人蔵
3	津上みゆき	View - at 1:52 p.m.,2May.,11-12「View - 13 thoughts、2010-2012」	2012年	顔料、アクリル、その他、カンバス	116.7×116.7cm	個人蔵
4	津上みゆき	View - trees on the uphill, Nov.2012-Jan.2013	2013年	顔料、アクリル、その他、カンバス	218.2×333.3cm	個人蔵
5	狩野哲郎	Mirrored mirages	2013-2014年	ミクストメディア（既製品、水、種子、果実、美術館備品、什器など）	可変	作家蔵
6	津上みゆき	View - at 1:52 p.m., 2 May., 11-12		スケッチおよびエスキース		作家蔵
7	津上みゆき	View - trees on the uphill, Nov. 2012-Jan.2013		スケッチおよびエスキース		作家蔵
8	狩野哲郎	野生のストラクチャ／Savage structuers	2013-2014年	ミクストメディア（枝、果実、既成の金属、プラスティック、ゴム製品）	可変	作家蔵

（５）白川昌生　ダダ、ダダ、ダ　地域に生きる☆想像の力

1970年代にフランス/ドイツに滞在し、当時の欧米における芸術運動に触れ、帰国後は群馬にアトリエを構え、現在まで赤城山の麓で制作活動を続けている白川昌生の個展を開催した。白川は、欧米や都市部を中心とした芸術における支配的な価値観に対して批評的な距離をとり、自らが生活する地域の歴史や文化に着目して表現活動をおこなってきた。作家が生きる社会、経済、思想などと深く関わることを重視し、作品制作のみならず、展覧会の企画や執筆活動も含めた広範な表現活動によって高い評価を得ている。本展覧会では、こうした活動を概観するために白川がヨーロッパ滞在中に制作したコンセプト・ノートから、この展覧会のために制作された新作までを紹介するとともに、白川から影響を受けた若い世代の作家3名にコラボレーションという形で参加をしてもらった。

□会　　期：2014年3月15日(土)ー6月15日(日)（展覧会日数　80日）
□開館時間：11時から19時まで
□休 館 日：毎週水曜日
□会　　場：アーツ前橋　地下ギャラリー
□観 覧 料：一般600円　学生400円　65歳以上400円　高校生以下無料
□主　　催：アーツ前橋
□助　　成：平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□出品点数：52点
□入場者数：3,124人
□無 料 日：2014年4月13日（日）「駅家の木馬」祭り
□割　　引：トワイライト割引（17時以降の入館）400円、毎月22日は、ペア割引800円／2名、5月31日（土）と6月1日（日）のみ受付で「ダダでただ」と言った方は無料とした。告知は、アーツ前橋HPとFacebookのみで行った。

□印刷物

■ポスター　B2判　600部
■チラシ　A4判　30,000部
■会場配布用展示MAP　A3判二つ折り　10,000部
■木馬通信01号　A4判　1,000部
■木馬通信02号　A4判　1,000部
■図録　日本語／英語　A4版　200頁
内容：「序文」　住友文彦

「展覧会開催概要」
「謝辞」
「目次」
「赤城山のふもとに生きる」　白川昌生
「作品解説」　今井朋、小野田藍
「地域に生きる想像の力」　住友文彦
「マイナー芸術のために」　毛利嘉孝
「マース券と握手する手―未来からありがとう」　森野榮一
「幻想　アジアを離れヨーロッパへ―更新された「あいまいさ」」
アストリッド・ハンダ＝ガニャール
「白川昌生を語る」　冨井大裕×藤井光×中崎透
「日本現代美術序説　その端緒的覚書」　白川芳夫
「年譜」　今井朋編
「著作解題」　鈴木宏
企画・監修：アーツ前橋
編集・執筆：住友文彦＋今井朋[アーツ前橋]
表紙デザイン：佐藤正幸[Maniackers Design]
ページデザイン：宗利淳一
制作：鈴木宏＋飛田陽子[水声社]
翻訳：桑田光平、中山ゆかり、Amedeo Panvini Rosati Heush、
Fabien Arribert-Narce、Tim Groves
発行：株式会社水声社

■パネル　主催者あいさつ、セクション解説文、作品解説文、白川昌生／伊澤早穂年譜

□主要関連記事

■新聞等

朝日ぐんま　2014.04.11　いざ集え！駅家の木馬祭りへ
13日、前橋の中心商店街で開催
2014.05.16　白川昌生展　多面的・先駆的な活動にスポット
朝日新聞　2014.05.21　評・美術「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」
群馬の日常　おおらかに
産経新聞　2014.05.19　アーツ前橋で「白川昌生展」来月15日まで
上毛新聞　2014.03.15　「地域に生きる」白川さんのアート　きょうから前橋で企画展
2014.04.12　木馬と一緒に中心街歩こう
2014.04.15　子ども木馬5台中心街練り歩く　前橋で祭り
2014.04.17　木馬隊　街を練り歩く　前橋　ツナガリズム祭り
弁天通青年会　蓮池俊光さん
2014.04.19　40年の創作活動　網羅
美術家　白川昌生さん前橋で個展
2014.05.20　サイコロ振って描く　白川さんがワークショップ　前橋
東京新聞　2014.04.06　地域で創作　軌跡紹介　前橋で白川さん初大規模個展
フジサンケイビジネスアイ　2014.06.10　アートで街おこし、核は市美術館
毎日新聞　2014.04.10　前橋の歴史物語を展開　市立美術館と在住の美術家が共催
13日に木馬祭り
2014.06.03　大規模展：白川昌生氏群馬から「ダダ」の精神

読売新聞　2014.04.13　創作物語の「お告げ」駅家ノ木馬祭
2014.05.29　地域に根ざす意義を問う
白川昌生さん　群馬で個展

■定期刊行物

Vien （ヴィアン）No.119 2014.03	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展
芸術新潮　第65巻第4号　通巻772号	invitation/exhibition
商工まえばし　第512号　美術作家	白川昌生
まちなか新聞　2014年5月10日発行	白川氏インタビュー
美術手帖　2014年6月号「ART　NAVI」	白川昌生　ダダ、ダダ、ダ
美術手帖　2014年7月号	展覧会レビュー　芸術、地域、DIY

■放送

エフエムぐんま	2014.03.25	
	2014.04.08	
NHK教育	2014.06.01	日曜美術館　アートシーン
NHK前橋支局	2014.04.11	ニュース640
NHKラジオ	2014.05.17	アートを探して
ケーブルテレビJ-COM		4月28日から5月4日と6月2日から6月8日までの間に定期的に放送
群馬テレビ	2014.04.13	ニュース
まえばしCITYエフエム	2014.03.13	Arts My Fire
	2014.03.15	アーツなラジオ
	2014.03.27	Arts My Fire
	2014.04.19	アーツなラジオ

■インターネット

産経ニュース	アーツ前橋で白川昌生展　来月15日まで
TOKYO ART BEAT	白川昌生　ダダ、ダダ、ダ
フジサンケイビジネスアイ	アートで街おこし　核は市美術館
前橋高崎経済新聞	白川昌生さん、近代化に向け「ダダ、ダダ、ダ」アーツ前橋で企画展

□関連事業

（1）白川昌生　アーティスト・トーク

日時：2014年3月16日（日）14時から16時

会場：アーツ前橋スタジオ

内容：白川昌生の作品でもある「沼垂ラジオ」スタッフの小野田賢三に進行役をお願いし、展示室にて掲示している白川の年表を辿るような形式で白川のこれまでの活動についてお話いただいた。トークの冒頭では、スペシャル・ゲストの三角みづ紀による白川の幻の詩「だいべんたいしょう」の朗読を行った。

参加者数：50名

（2）記念対談　白川昌生×毛利嘉孝（東京藝術大学准教授）×住友文彦

日時：2014年5月4日（土）14時から16時

会場：アーツ前橋スタジオ

内容：本展図録執筆者で、展覧会会期中に中心街で開催される前橋映像祭副実行委員長を務める毛利嘉孝と白川昌生にアーツ前橋館長・住友文彦が進行役となり対談を行った。「芸術と政治性」また図録に掲載された白川の著作「現代美術序説」や「日本のダダ」展にみる白

川の日本の前衛美術への視線を読み解いた。
参加者数：45名

（3）記念トーク　白川昌生×冨井大裕×中崎透×藤井光
日時：2014年5月18日（日）14時から16時
会場：アーツ前橋スタジオ
内容：今回の展覧会でコラボレーションという形で参加をした若手作家3名と白川によるトーク。それぞれが白川との出会いから、受けた影響、また今回の展覧会への出品作品の意図などを説明。
参加者数：50名

（4）駅家の木馬祭り
日時：2014年4月13日（日）
会場：前橋中心商店街、弁天通り
内容：「駅家の木馬」祭りは、白川が前橋の実在の場所や群馬ゆかりの歴史上の人物を登場させながら作った前橋の物語をもとに生まれた祭りであり、平成23年秋に第1回を開催してから今回2年半ぶりに開催した。開催に際し、市民の参加者を募るためワークショップを開催、石坂亥士による荒馬踊りと中崎透による寸劇の練習を行った。
参加者数：800名

（5）ゴールデンウィーク特別ワークショップ「白川昌生の＜誰でもアーティスト＞」
日時：2014年5月5日（月・祝）14時から17時
会場：アーツ前橋スタジオ
内容：白川がヨーロッパ滞在中に制作したコンセプト・ノートの中の1冊「偶然的タブロー（サイコロとヒモによる）」に記された作品制作方法を実践してみるワークショップ。対象は、高校生以上の学生とし事前申込制とした。
参加者数：20名

□担当：住友文彦、今井朋

【出品目録】白川昌生　ダダ、ダダ、ダ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
1	戸田達雄	誌上動物園 （雑誌『MAVO』7号に掲載）	1925年	インクジェットプリント（複製）	240×178cm	画像提供：公益財団法人 日本近代文学館
2	白川昌生	イエロープラン	1981年、 2014年再制作	合板、アクリル塗料	可変	
3	イヴ・クライン	非物質的領域	1962年02月10日	スライド	14枚	画像提供： Yves Klein Archives
4	イヴ・クライン	空虚	1958年	映像	1分39秒	画像提供： Yves Klein Archives
5-1		「日本のダダ―日本の前衛 1920-1970」展	1983年	印画紙、ボード	34×43cm/123枚組	国立大学法人　筑波大学蔵
5-2		「日本のダダ―日本の前衛 1920-1970」展	1983年	スライド	182枚	白川昌生蔵
6	白川昌生	弁天通り	2009年	インクジェットプリント	120×700cm	作家蔵
7-1	白川昌生	Maebashiライダー	2014年	スケートボード板（48枚）、 ハーフパイプ	280×664×263cm	
7-2	白川昌生	スケートボード　前橋	2013-2014年	映像	3分21秒	作家蔵
8-1	白川昌生	スノーボードのニンフ	2007年	刺繍、布、スノーボード板2枚	197×113.5cm 142.3×79.8cm	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
8-2	白川昌生	フィールド・キャラバン計画	2007年	映像	37分47秒	作家蔵
8-3-1	白川昌生	ボーディング　1	2007年	鉛筆、紙、コラージュ、墨	52×67.5cm	作家蔵
8-3-2	白川昌生	ボーディング　2	2007年	鉛筆、紙、コラージュ、墨	56.5×74.5cm	作家蔵
8-3-3	白川昌生	ボーディング　3	2007年	鉛筆、紙、コラージュ、墨	56.5×74.5cm	作家蔵
8-4	白川昌生	スノーボードサークルNO.2	2007年	スノーボード板（79枚）、鉄	347×782×200cm	作家蔵
9-1	白川昌生	ホームレスの記念碑	2002年	鉛筆、紙	135×180cm	作家蔵
9-2	白川昌生	快適さに対する敗北の記念碑	2002年	鉛筆、紙	135×180cm	作家蔵
9-3	白川昌生	敗北の記念碑	2002年	鉛筆、紙	135×180cm	作家蔵
9-4	白川昌生	敗北の記念碑	2002年	アクリル、ウレタン樹脂、木、鉄	121×54×54cm	作家蔵
9-5-1	白川昌生	餓鬼　1	2002年	アクリル、布	123×93.5cm	作家蔵
9-5-2	白川昌生	餓鬼　2	2002年	アクリル、布	124.5×95cm	作家蔵
9-5-3	白川昌生	餓鬼　3	2002年	アクリル、布	121×91cm	作家蔵
9-5-4	白川昌生	燃える世界	2002年	アクリル、世界地図	59.3×89.3cm	作家蔵
10-1-1	白川昌生	駅家の木馬	2011年	木馬	260×130×62cm	作家蔵
10-1-2	白川昌生	駅家の木馬	2011年	木馬	172×181×62cm	作家蔵
10-1-3	白川昌生	駅家の木馬	2011年	木馬	172×181×62cm	作家蔵
10-1-4	白川昌生	駅家の木馬	2011年	木馬	172×181×62cm	作家蔵
10-1-5	白川昌生	駅家の木馬	2011年	木馬	172×181×62cm	作家蔵
10-2	藤井　光	DADADA	2011年	映像	2分58秒	作家蔵
11	白川昌生	道草アート	2009年	ミクストメディア	可変	作家蔵、真武真喜子氏蔵、村上雅紀氏蔵
12	白川昌生	ぷらっとフォーム計画　前橋編	2014年	インクジェットプリント、映像、立体	可変	作家蔵
13	冨井大裕（白川昌生）	プライベート・ステップへ	2014年	アルミトンボ、色紙、グラスファイバ、尺計器、スチール棚、洗濯バサミ、バランスボール、付箋、プラスチック板、メジャー、木製椅子	可変	作家蔵
14	白川昌生（冨井大裕）	市民的マテリアル NO.1（赤城山）	2014年	脚立、バスケットボール、プラスチックケース	198×479.5×95cm	作家蔵
15	中崎透	123454321	2005年	アクリル板、アルミ、蛍光灯、シート、写真、木材	135.4×15.5×13cm	作家蔵
16-1	中崎透	旅行者なボクは中学生とすれ違った	2005年	アクリル板、アルミ、蛍光灯、シート、写真、木材	71.5×71.5×14cm	作家蔵
16-2	中崎透	mountain	2005年	アクリル板、アルミ、蛍光灯、シート、写真、木材	71.5×71.5×14cm	作家蔵
16-3	中崎透	釧露	2005年	アクリル板、アルミ、蛍光灯、シート、写真、木材	71.5×71.5×14cm	作家蔵
17	白川昌生+中崎透	世界に注目してみようと思う。	2014年	ミクストメディア	可変	作家蔵
18	白川昌生	無人駅での行為（群馬と食）	2000年	ゼラチンシルバープリント、インクジェットプリント	159×387cm	作家蔵
19	白川昌生	サバイバルアート／島岡酒造再建計画	2006年	インクジェットプリント、酒瓶、台座	210×240cm	作家蔵
20	白川昌生	サチ子の夢	2002年	アクリル、カンバス、ゼラチンシルバープリント、布、ボディ	210×534cm	作家蔵
21	藤井光	ソーシャル・レイバー（社会的労働）	2010年	映像	2分25秒	作家蔵
22	白川昌生	地域通貨	2001年	映像、ドローイング、証書、服、地球儀	可変	作家蔵、一本松光男氏蔵、中村誠氏蔵
23	白川昌生	コンセプト・ノート	1973-1979年	コラージュ、ドローイング	623枚	作家蔵
24	白川昌生	想起の形	2004年	金具、合板、丸棒	170×361×286cm	作家蔵
25	白川昌生	円環―彫刻	1993年	亜鉛メッキ、鉄、スチール棚付属品	178.5×254×228cm	北九州市立美術館蔵
26	白川昌生	3×3×3×3	2007年	鉄、バスケットボール、バレーボール、紐、プラスチックケース	250×300×300cm	作家蔵
27	白川昌生	KUMANO	1993年	亜鉛メッキ、鉄	200×227×151cm	北九州市立美術館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
28	白川昌生	AKAGI	1993-1995年	亜鉛メッキ、鉄	188×507×70cm	作家蔵
29	白川昌生	Tomoko	2014年	脚立、梱包材、スチール棚、ステンレス、リノリウム、ロート	260×130×300cm	作家蔵
30	白川昌生	基準―日本	1990年 1994年改変、再制作	瓦、鉄、トタン、粘土	150×240×70cm	北九州市立美術館蔵
31	白川昌生	Tomoko & Light	2014年	アクリル板、アクリル絵具、木、脚立、蛍光灯、鉄、メガホン、プラスチックケース、レンガ	246×430×430cm	作家蔵
32	白川昌生	2×2×2×2×2	2014年	アルミ、コンポスト、机、トタン、ブロック	172×264×218cm	作家蔵

I-3　平成25年度来館者数一覧

	地下1Fギャラリー			1Fギャラリー、交流スペース
	一般	団体	合計	
プレオープン展示 コレクション＋　からだが語る（36日）				7,581
開館記念展 カゼイロノハナ　未来への対話（73日）	6,453	235	6,688	26,536
高校生とつくる展覧会 ぷるぷる不発弾（6日）				878
Art Meets 01 津上みゆき／狩野哲郎（80日）				16,170
白川昌生　ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力（80日）	2,998	126	3,124	
合　　計	9,451	361	9,812	51,165

Ⅱ 地域アートプロジェクト

Ⅱ-1 マチリアルプロジェクト

（1） 磯部湯活用プロジェクト

2012年に廃業した銭湯旧磯部湯を会場とし、アーティストの伊藤存と幸田千依の2名のアーティストが公開制作、作品展示を行った。公開制作では、伊藤存が約のべ30日間、幸田千依が60日間前橋に滞在し、地域のリサーチや公開制作に訪れた来場者とコミュニケーションを取りながら作品の制作を行った。制作した作品は、旧磯部湯で展示を行い、アーティスト・トークも開催した。

□会　　期：2013年10月26日（土）－2014年1月26日（日）（計40日間）
□開室日・時間：金、土、日曜日および祝日　13時から18時
※公開制作：10月26日（土）－12月8日（日）
※作品展示：12月14日（土）－1月26日（日）
□会　　場：旧磯部湯（前橋市千代田町1-4-8）
□観 覧 料：無料
□主　　催：アーツ前橋
□助　　成：一般財団法人地域創造、平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□出品点数：18点
□来場者数：963名
□運営委託：株式会社オリエンタル群馬
□印刷物
■チラシ　B5判　2000部
■チラシ　A3判　2000部

□主要関連記事
■新聞等
朝日ぐんま　2013.11.13　銭湯に　洋服店に　アートが出現！！
2013.11.08　「新しい出来事」創造する地域アートプロジェクト　芸術の秋
上毛新聞　2013.12.06　旧銭湯でアート　前橋
東京新聞　2013.12.16　銭湯にアートな世界　廃業の前橋「磯部湯」活用事業

作品の展示始まる
読売新聞　2013.12.15　閉店銭湯に芸術作品　アーツ前橋の企画

■定期刊行物

Vien（ヴィアン）　2013年12月号　No.116　磯部湯でアートを展開！
地域アートプロジェクト

■放送

まえばしCITYエフエム　2013.12.12　Arts My Fire

□関連事業：

アーティスト・トーク
日時：2013年12月15日（日）　14時から15時30分
場所：旧磯部湯
内容：2名のアーティストによる、滞在制作や前橋でのリサーチ、作品についてのトークイベントを行った。
参加者数：65名

（２）　商店街との連携事業：アーツ前橋オープン記念フラッグ

前橋中心商店街と連携し、アーツ前橋のグランドオープンののぼり旗や街路灯フラッグを各商店街に飾った。アーツ前橋開館記念展の出品作家がデザインを行い、様々なデザインののぼりや街路灯フラッグを制作した。

□日　　時：2013年10月25日（金）－
□会　　場：前橋中心商店街
□主　　催：前橋中心商店街協同組合
□参加アーティスト：カナイサワコ、佐藤正幸、白川昌生、須藤和之
□フラッグ数：264枚

（３）　アーツ桑町

アーティストの藤浩志の提案で、まち中の空き店舗を改装し、市民団体の活動拠点として活用した。2013年の7月から運営を始め、地域でイベントをしている市民団体や、地元の大学のグループなどが展示やイベント会場、ミーティング場所として使用している。アーツ前橋の展覧会にあわせた内容のイベントなどの会場として使用した。

□日　　時：2013年7月－
□会　　場：アーツ桑町（前橋市千代田町2-12-7）
□運営委託：NPO法人 まえばし市民活動支援センター
□利用団体数：10団体（2014年3月31日時点）
□主要関連記事：

■新聞等

上毛新聞　2013.06.12　前橋・アーツ桑町　空き店舗に文化拠点　利用希望者リフォーム
2013.07.30　文化拠点が始動　前橋アーツ桑町　空き店舗を改装
2013.11.04　芸術薫る中心街に　音使い空間表現　岡庭さんが個展
前橋のアーツ桑町
2013.11.17　絵、舞踏でバリの風　前橋

（４） 藤浩志　マチ歩きトーク

アーティストであり、市民活動拠点の「アーツ桑町」提案者である藤浩志によるマチ歩きを開催。藤は以前にも前橋に訪れたことがあり、アーツ前橋が開催している地域アートプロジェクトの各会場や、まちの中で新しくできた拠点などを独自の視点で案内した。また、マチ歩き参加者が中心市街地の気になる店にインタビューにいき、それらを他の参加者の前で発表するワークショップも行った。

□日　　時：2014年1月18日（土）14時から16時
□会　　場：アーツ前橋、地域アートプロジェクトの各会場、中心商店街など
□参加アーティスト：藤浩志
□参加人数：21名
□担　　当：家入健生

Ⅱ-2　きぬプロジェクト

装いとコミュニケーションをテーマに活動してきた美術家の西尾美也が代表をつとめるファッションブランド「FORM ON WORDS（フォーム・オン・ワーズ）」が、アーツ前橋のためのユニフォームを制作することを目的に展開するプロジェクト。かつて養蚕業で栄えた糸のまち前橋で、服を着ることや作ることについて改めて考える機会となることを目指してワークショップ等を開催した。

（１）　作品展示「ファッションの遊び方」

□会　期：2013年10月26日（土）－2014年1月26日（日）
（計41日間）
□開室日・時間：金、土、日曜日および祝日　13時から18時
□内　容：美術作家・西尾美也のこれまでの活動を紹介し、服や着ることについてのさまざまな「当たり前」に疑問を投げかけるような作品を展示した。
□会　場：竪町スタジオ（前橋市千代田町2-4-1）
□観覧料：無料
□主　催：アーツ前橋
□助　成：一般財団法人地域創造、平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□運営協力：群馬大学
□来場者数：536名
□印刷物
■チラシ　A4判　3,000部
□主要関連記事
■朝日ぐんま　2013.11.13　銭湯に　洋服店にアートが出現！！

（２）　参加型プロジェクト「ファッションの図書館」

□会　期：2013年11月29日（金）－2014年1月26日（日）（のべ25日間）

□内　容：前橋市民の愛着のある服飾品を募集し、エピソードとともに公開した。集まった服飾品は、誰でも利用可能な公共の衣装ダンスとして、無料で貸出した。
□会　場：竪町スタジオ（前橋市千代田町2-4-1）
□集まった服飾品の数：90着
□利用者数：12名（レンタルした人数）

（３） ワークショップ「ファッションの時間」

□内　容：服について語り合ったり、少し変わった方法で服を作ってみたり、FORM ON WORDSが考える「家庭科の授業」を行った。
□会　場：竪町スタジオ（前橋市千代田町2-4-1）

①1時間目「物語」
日時：2013年10月27日（日）14時から17時
参加人数：9名
②時間目「試着」
日時：2013年11月23日（土）15時から17時
参加人数：17名
③3時間目「模様」
日時：2013年11月24日（日）14時から17時
参加人数：14名
④4時間目「舞台衣装」
日時：2014年1月18日（土）14時から17時
参加人数：12名
⑤5時間目「小道具」
日時：2014年1月19日（日）10時から17時
参加人数：10名

（４） ファッショントーク

□日　時：2013年11月23日（土）13時から14時
□内　容：西尾美也のこれまでの活動をスライドで紹介。前橋で始めようとしているプロジェクト「ファッションの時間」についての説明や、今後の方向性などについて話した。
□参加者：15名
□主要関連記事
■定期刊行物
Vien（ヴィアン）2014年1月号　No.117　愛着のある服募集中！
ファッションの時間
■放送
まえばしCITYエフエム　25.11.14　Arts My Fire
25.01.09　Arts My Fire
□担　当：辻瑞生

Ⅱ-3　ダイニングプロジェクト　前橋食堂

（１）　『前橋食堂』ブックレット制作

アーティストの増田拓史を招聘し、前橋の食文化、主に家庭料理のリサーチを行い、最終的にブックレット『前橋食堂　暮らしの中に見えたもの』を刊行した。家庭料理の調査は前橋市内に住んでいる家庭をヒアリングシートで募集し、その中から増田氏が選んだ家庭を訪問し、調査を行った。ヒアリングシートは全てアーカイヴされ、調査した情報はブックレットにまとめ刊行した他、タブロイド紙やFacebookページで発信した。

□調査期間：2013年10月19日（土）から11月20日（水）
　　2013年12月10日（火）、11日（水）（計35日間）
□訪問件数：22件
□総レシピ数：76件　（うちブックレット掲載レシピ19件、タブロイド紙掲載レシピ1件）
□Facebookページ「前橋食堂」：https://www.facebook.com/maebashishokudo
□主　　催：アーツ前橋
□助　　成：一般財団法人地域創造、平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

（２）プロジェクト紹介展示

□日　時：2013年10月26日（土）から2014年1月26日（日）　11時から19時
□場　所：アーツ前橋　アーカイヴ
□来場者：26,540名　※開館記念展無料ゾーン入館者数
□内　容：プロジェクトの概要や参加の呼びかけのパネルと収集したレシピ、リサーチ風景が分かる写真などを展示した。

（３）ワークショップ「お食事交換会」

□日　時：2013年12月8日（日）11時から13時
□場　所：国際交流広場まちなかサロン（前橋市千代田町2-8-14）
□参加者：20名
□内　容：参加者それぞれの家庭から持ち寄られた家庭料理を通して「前橋らしい食とは」、「家庭料理とは」について考え、意見交換を行った。従来から親しまれていた粉ものの他、モツ煮が新たな存在として浮かび上がった。

（４）ブックレット刊行記念イベント

□日　時：2014年1月25日（土）11時から14時
□場　所：国際交流広場まちなかサロン（前橋市千代田町2-8-14）
□参加者：38名
□内　容：前橋の家庭料理をリサーチして発行したブックレットを記念して、プロジェクトを通して感じたことや明らかになったことを話した。取材協力家庭から家庭料理の提供もあり、味とともにプロジェクトを体感した。参加者からは今後もプロジェクトを続けてほしいとの声が上がった。
□印刷物
■タブロイド紙 vol.1　3,000部
■タブロイド紙 vol.2　1,500部
■ブックレット　A5変形判　700部
□主要関連記事
■新聞等
朝日新聞　2014.02.07　家庭料理から「前橋」考える　レシピまとめ刊行
アーツ前橋で販売
■放送
エフエム群馬　2013.12.03　ラジコモンズbyジョウモウ大学
まえばしCITYエフエム 2013.10.10　Arts My Fire
2013.12.21　アーツなラジオ
□担　当：小田久美子

Ⅱ-4　ダイニングプロジェクト　風の食堂

前橋の食や農業文化の現状を探るため、スペイン人アーティストのフェルナンド・ガルシア・ドリーが市内農家や酪農家を対象にリサーチや対談形式のトークイベントを複数回実施した。現在の農業の問題点を共有し、解決策を話しあった。また、市内の田中屋より焼きまんじゅう作りを学び、自身の知識をもとにオリジナルレシピの開発を行った。

（1）　展示

□会　　期：2013年10月26日（土）から11月10日（日）（計10日間）
□開室日・時間：金、土、日曜日および祝日　13時から18時
□会　　場：国際交流広場まちなかサロン（前橋市千代田町2-8-14）
□観 覧 料：無料
□来場者数：368名
□内　　容：トークイベントを行うためのテーブルや椅子、屋台などを制作して設置するとともにTPPの関連資料などを展示した。

（2）トークイベント「キッチンレクチャー」

①フェルナンド・ガルシア・ドリー×アダム・サザーランド（グライズデール・アーツ／イギリス）
□日　時：2013年10月31日（木）19時から21時
□参加者：31人
□内　容：アーティストが農作業をしたり、地域に出て市民と協働したりするなどの取り組みを行っているグライズデール・アーツの事例紹介を踏まえ、アーティストと社会や地域コミュニティの関わりについて議論した。

②フェルナンド・ガルシア・ドリー×長谷川農園（市内農家）
□日　時：2013年11月１日（金）19時から21時
□参加者：18名
□内　容：長谷川農園の他、チーズ工房スリーブラウンや若手農家の前原農園の参加もあった。農業を始めた理由や現在の取り組みを話す中で、農業の現状や後継者不足、生産物の販路

の問題が浮かび上がった。またTPPの影響については、賛否含め様々な意見が出された。

③フェルナンド・ガルシア・ドリー×増田拓史（ダイニングプロジェクト招聘アーティスト）
□日　時：2013年11月4日（月・祝）14時から16時
□参加者：14名
□内　容：お互いのこれまでの活動や前橋でのプロジェクトについて紹介し、意見交換を行った。

上記「キッチンレクチャー」のプログラム以外にも、リサーチの一環として、市内の農家やアーティストと、公開でトークを行った。このトークはアーティストが主体となり、後継者問題やTPPが農業文化に与える影響、食とアートなど、多様なテーマで行った。

□担　当：住友文彦、家入健生

Ⅱ-5　ガーデニングプロジェクト

（1） メディカル・ハーブマン・カフェ・プロジェクト in 前橋

前橋中心市街地の空き地を活用して、ランドスケープデザインスタジオ「EARTHSCAPE(アースケイプ)」による、「ハーブマン」を設置。「ハーブマン」とは、人の形をしたガーデン（庭）で、それぞれの体の部位に効能があると言われている薬草が植栽されているもの。その「ハーブマン」を、市民とともにワークショップ形式で植栽し、ワークショップや音楽イベントなどを開催した。また、市民団体によるマルシェやパフォーマンスイベントなども、ハーブマンの場所を使って開催された。

□日　　時：2013年5月－11月
□会　　場：銀座通り　もてなし広場
□アーティスト：EARTHSCAPE（アースケイプ）
□主　　催：アーツ前橋
□助　　成：一般財団法人地域創造、平成25年度 文化庁
　　地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
□印刷物
　　■DM　ハガキ版　8,000部

（2）植栽ワークショップ「ハーブマンに命を与える」

□日　　時：2013年5月4日（土）14時から16時
□会　　場：銀座通り　もてなし広場
□参加者数：53名
□内　　容：前橋市内で採集した約30種類の薬草を、それぞれ効能を調べて「ハーブマン」の体の部位に植栽していくワークショップを開催。植栽終了後は「ハーブマン」をどのように維持していくか、サポーターが関われるのはどの部分か、ということを話し合った。

（３）植栽＆机・イス作りワークショップ

□日　　時：2013年6月8日（土）11時から12時／14時から16時
□会　　場：銀座通り　もてなし広場
□参加者数：53名
□内　　容：「ハーブマン」に設置する、机やイスを制作するワークショップを開催。材料は、地元の商店街などからの協力により、使われなくなったイスや机、本棚などの木製品を提供してもらい、それらを組み合わせて制作した。

（４）ハーブマンお披露目イベント「コンニチハ　ハーブマン！」

□日　　時：2013年7月27日（土）13時から18時
□会　　場：銀座通り　もてなし広場
□参加者数：320名
□内　　容：市民との数回の植栽ワークショップや机&イス作りワークショップ、定期的な水やりなどを行い完成した「ハーブマン」のお披露目イベントとして開催。植栽されている薬草を使ったハーブシロップ作りワークショップや、音楽コンサート、また「ハーブマン」発案者である「EARTHSCAPE」によりトークイベントなどを開催した。

（５）「ハーブマン」押し葉ブック作りワークショップ＆音楽イベント＆ワークショップ

□日　　時：2013年11月9日（土）11時から12時
　　11月23日（土）13時から14時
【音楽イベント】
□日　　時：2013年11月23日（土）14時から15時
□会　　場：上記ともに　銀座通り　もてなし広場
□参加者数：127名
□内　　容：ハーブマンに植栽されている薬草を、アーティストのアースケイプが作成したオリジナルの押し葉ブックにはさみ、自分だけの押し葉ブックを作るワークショップを開催。また、ハーブマンのデッキ上で、音楽とコンテンポラリーダンスの公演を開催した。当日は、薬草カレーの販売なども行った。
□主要関連記事
■新聞等
上毛新聞　2013.05.05　アート通じ交流を　商店街に「ハーブマン」　前橋
　　もてなし広場の「ハーブマン」に植栽する参加者
　　2013.07.24　ハーブマン囲み　音楽やトーク　27日に前橋
　　2013.07.28　ハーブマンもてもて　アーツ前橋がお披露目
■放送
まえばしCITYエフエム　25.04.11　Arts My Fire
□担当：家入健生

Ⅱ-6　アーツ前橋シンポジウム　～地域とアートを紡ぐ３日間～

本シンポジウムは国内外のパネリストを招聘し、「地域とアート」をテーマに事例紹介、トークセッション、円卓会議を3日間かけて行う予定であったが、大雪のために2日目のプログラムを変更し、また3日目のトークセッションは中止となった。

□開催日時：2014年2月14日（金）、2月15日（土）、2月16日（日）
※ただし、大雪のため15日のプログラムを一部改変、また16日は中止とした。

□会　　場：アーツ前橋

□パネリスト：伊藤存（アーティスト）、上田壮一（一般社団法人 Think the Earth理事／プロデューサー）、大南信也（特定非営利活動法人グリーンバレー理事長）、小田井真美（AIR研究／ディレクター）、菅野幸子（国際交流基金情報センター／プログラム・コーディネーター）、ローワン・ゲティス（ガスワークスレジデンスプログラマー）、幸田千依（アーティスト）、クォン・ジン（第4回アンヤン・パブリック・アート・プロジェクトキュレーター）、住友文彦（アーツ前橋館長）、田中仁（株式会社ジェイアイエヌ代表取締役社長）、照屋勇賢（アーティスト）、友岡邦之（高崎経済大学地域政策学部教授）、堀田勝彦（有限会社長者町街づくりカンパニー取締役）、増田拓史（アーティスト）、真武真喜子（インディペンデント・キュレーター）、ポーリン・ヤオ（M+キュレーター）、山重徹夫（アートディレクター／プランナー）
※佐藤慎也（日本大学准教授／建築家）、中村政人（アーティスト／3331Arts Chiyoda 統括ディレクター／東京藝術大学　油絵　准教授）、外村仁（Evernote日本法人　会長）、山出淳也（NPO法人　BEPPU　PROJECT代表理事／アーティスト）は大雪のため、参加することができなかった。

□聞き手：岡正己（株式会社まえばしCITYエフエムプロデューサー＆事業推進ディレクター／前橋〇〇部発起人）、岡田達郎（株式会社オリエンタル群馬　広報・事業企画マネージャー）、カナイサワコ（アーティスト／Maebashi Works代表）、喜多村徹雄（アーティスト／群馬大学教育学部准教授）、橋爪光年（ジョウモウ大学学長／有限会社高崎エージェンシー代表取締役）、橋本薫（建築家／FRASCO　チーフディレクター）、藤澤陽（株式会社フジサワ常務取締役／前橋〇〇部）、八木隆行（アーティスト）

□主　催：アーツ前橋

□助　成：平成25年度 文化庁 文化芸術の海外発信拠点形成事業

□協　力：国際交流広場ホール、大蓮寺、前橋文学館、mBOX

□コーディネート：橋本誠（一般社団法人ノマドプロダクション）

□印刷物

■チラシ　A4判　10,000部

■ポスター　A2判　600部
■プログラム　A4判　8頁　500部
■ドキュメント　日本語／英語　B5判36頁　1,000部
内容：「はじめに」
「目次」
「コンセプト」
「レポート」　橋本誠
「アーツ前橋の活動」　住友文彦
「地域アートプロジェクト参加アーティスト」
伊藤存、幸田千依、増田拓史
「セッションA：グローバル化と地域／クリエイティブな活動と経済の関係」
ポーリン・ヤオ、ローワン・ゲティス、大南信也、上田壮一、田中仁
「セッションB：制作の現場　アーティスト・イン・レジデンスの事例をもとに／地域の再生とアート」
小田井真美、照屋勇賢、真武真喜子、クォン・ジン、堀田勝彦
「創造的環境の条件」　友岡邦之、菅野幸子
「関連マップ」
「地域とアートキーワード」
企画・発行：アーツ前橋
編集：住友文彦＋家入健生（アーツ前橋）
橋本誠（ノマドプロダクション）
編集補助：及位友美＋川村彩乃＋米津いつか
レイアウト：voids
翻訳：株式会社リンクトランス・サイマル
ウィリアム・アンドリューズ

□参加者：1日目　のべ122名　トーク：64名
2日目　のべ102名

□企画・運営：住友文彦＋吉田成志＋野崎美樹＋小田久美子＋家入健生（アーツ前橋）
橋本誠＋及位友美＋川村彩乃（ノマドプロダクション）

□主要関連記事
■新聞等
上毛新聞　2014.02.01　地域再生とアート　14〜16日　アーツ前橋シンポ
2014.02.18　地域と芸術家をつなぐ　アーツ前橋でシンポ
■放送
まえばしCITYエフエム　2014.01.23　Arts My Fire
2014.02.13　Arts My Fire

□関連事業：シンポジウムオープニングイベント　音楽イベント「S／Y／N／C」
シンポジウムのオープニングを記念して、音楽イベントを開催しました。
日　時：2月14日（金）20時45分から21時45分
場　所：ROBSON COFFEE アーツ前橋店
参加費：1ドリンクオーダー制
出演者：冨沢仲、岡庭涼

□参加者数：58名

□担当：住友文彦、吉田成志、野崎美樹、小田久美子、家入健生

Ⅲ 教育普及

Ⅲ-1　講演会等

（１） 市民企画事業 パフォーマンス　in アーツ前橋

アーツ前橋のギャラリー空間を使って２つのパフォーマンス公演を行った。群馬県立女子大学の芸術プログラム「芸術への現場へ３（コースI）」と連携し、ワークショップを通して学生スタッフが照明や音響などの演出を行った。

①off-Nibroll いつもの時間 － the same time as always －

日　　時：2013年8月3日（土）19時30分から20時30分
会　　場：アーツ前橋　地下ギャラリー
総合演出：off-Nibroll（オフ・ニブロール）
映　　像：高橋啓祐
作　　：矢内原美邦
出　　演：公募により集まった地元パフォーマー10名（安藤暁子、尾花藍子、児島悦子、坂川善樹、戸丸大地、中村ひろみ、野本涼香、林透真、山賀ざくろ、山下道子）
参加者数：91名

②鈴木ユキオ　licking the dust　/　村田峰紀　ドロー

日　　時：2013年8月31日（土）19時30分から21時
会　　場：アーツ前橋　地下ギャラリー
出　　演：鈴木ユキオ、村田峰紀
参加者数：139名

□印刷物：チラシ　A4判　6,000部
□主要関連記事
■新聞等
朝日ぐんま　2013.09.20　今秋オープン　アーツ前橋　TOPIC 5
上毛新聞　　2013.08.02　朔太郎の詩とダンス融合　明日前橋
2013.08.08　芸術の拠点いよいよ　アーツ前橋でプレイベント〔前橋〕

2013.08.13　映像と踊り　融合

■放送

まえばしCITYエフエム　2013.07.11　Arts My Fire

2013.08.22　Arts My Fire

□担当：家入健生

（２）市民企画事業　アーツ前橋音楽コンサート　コスモス

市民がコーディネーターとなり、出演者の選定、当日の演出や運営を行い、音楽コンサートをアーツ前橋の地下ギャラリーにて行った。群馬県出身で2013年度NHK大河ドラマ「八重の桜」の音楽を担当した中島ノブユキと、主に県内で活躍する若手の音楽家が各日とも出演し、1カ月前に控えたアーツ前橋の開館に対する機運を高めた。

日　　時：2013年9月22日（日）18時30分開場　19時開演

2013年9月23日（月・祝）14時30分開場　15時開演

会　　場：アーツ前橋　地下ギャラリー

出　　演：22日　中島ノブユキ、小林頼司（Raiji&Chips）

23日　中島ノブユキ、高橋李枝

コーディネーター：岡庭涼

参加者数：22日　111名

23日　195名

□印刷物：チラシA4版　6,000部

□主要関連記事

■新聞等

上毛新聞　　2013.09.21　「八重の桜」の楽曲披露　あすから前橋で中島ノブユキさん

2013.09.24　「八重の桜」挿入曲響く　中島さん招き演奏会

■放送

まえばしCITYエフエム　25.09.12　Arts My Fire

□担当：家入健生

（３） 開館記念シンポジウム「アートと出会う」

アーツ前橋の開館を記念して、各界から多彩なパネリストを招き、地域社会とアートの新しい関係を探るシンポジウムを開催した。多くの人がここで出会い、それぞれの個性を表現しながら、当事者として関われる場所を目指しているアーツ前橋にとって、アートと地域の関わり方を探り、また市民をはじめ多くの人々にとって魅力的な施設であるために何をすべきか、これからのアートが担う役割について議論することを目的として開催。

□開催日時：2014年1月11日（土）14時から16時
□会場：前橋テルサホール（前橋市千代田町2-5-1）
□パネリスト：姜尚中（政治学者）、八谷和彦（アーティスト）、山田創平（都市社会学者）、住友文彦（アーツ前橋館長）、
司会：住吉美紀（フリーアナウンサー）
□印刷物
■チラシ　A4判　20,000部
□参加者数：500名
□主要関連記事
■新聞等

朝日新聞	2014.01.09	姜尚中氏ら招き11日シンポ開催 アーツ前橋開館記念
ぐんま経済新聞	2014.01.16	開館記念シンポ開く 姜尚中さんらが議論　アーツ前橋
	2014.01.25	開館記念シンポ開く　アーツ前橋 姜尚中さんらが議論
上毛新聞	2013.12.23	アーツ前橋開館記念しシンポ　来月11日
	2014.01.12	アーツ前橋開館記念シンポ　学識者、芸術家が議論
	2014.01.18	アーツ前橋開館記念シンポ「アートと出会う」
読売新聞	2014.01.12	アーツ前橋シンポ姜尚中さんら議論

■定期刊行物
地域創造レター　1月号　No.225　アーツ前橋開館記念シンポジウム「アートと出会う」
■放送

まえばしCITYエフエム	2013.12.26	Arts My Fire
	2014.01.18	アーツなラジオ

□担当：辻瑞生

Ⅲ-2　ギャラリーツアー等

（1）　学芸員によるギャラリーツアー

日付	曜日	時間	イベント名	解説者	会場	参加者数
3月21日	金・祝	14:00-14:30	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展ギャラリーツアー	今井朋	地下ギャラリー	7名
4月26日	土	14:00-14:30	「Art Meets 01　津上みゆき　狩野哲郎」展ギャラリーツアー	辻瑞生	1Fギャラリー	6名
4月29日	火・祝	14:00-14:30	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展ギャラリーツアー	今井朋	地下ギャラリー	6名
5月24日	土	14:00-14:30	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展ギャラリーツアー	今井朋	地下ギャラリー	13名
5月25日	日	14:00-14:30	「Art Meets 01　津上みゆき　狩野哲郎」展ギャラリーツアー	辻瑞生	1Fギャラリー	11名

（2）　ファミリーギャラリーツアー

日付	曜日	時間	イベント名	解説者	会場	参加者数
3月30日	日	14:00-14:30	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展ファミリーギャラリーツアー	小田久美子	地下ギャラリー	16名
4月27日	日	14:00-14:30	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展ファミリーギャラリーツアー	小田久美子	地下ギャラリー	2名
6月 8日	日	14:00-14:30	「白川昌生　ダダ、ダダ、ダ」展ファミリーギャラリーツアー	小田久美子	地下ギャラリー	14名

（3）　アーティスト・トーク

日付	曜日	時間	イベント名	解説者	会場	参加者数
8月11日	日	14:00-16:00	アーティスト・トーク	下山直紀、村田峰紀	カフェスペース	30名
10月28日	月	14:00-16:00	アーティスト・トーク	笹井あかり、須藤和之、村田峰紀	スタジオ	17名
11月 9日	土	14:00-16:00	アーティスト・トーク	加藤アキラ、廣瀬智央、ましもゆき	スタジオ	46名
11月30日	土	14:00-16:00	アーティスト・トーク	牛嶋直子、小泉明郎、山極満博	スタジオ	43名
12月 8日	日	14:00-16:00	アーティスト・トーク	カナイサワコ、木暮伸也、佐藤正幸、白川昌生	スタジオ	30名
3月16日	日	14:00-16:00	アーティスト・トーク	白川昌生	スタジオ	50名
5月 4日	日	14:00-16:00	アーティスト・トーク	白川昌生、毛利嘉孝、住友文彦	スタジオ	45名
5月18日	日	14:00-16:00	アーティスト・トーク	白川昌生、冨井大裕、中崎透、藤井光	スタジオ	50名
5月31日	土	14:00-16:00	アーティスト・トーク	狩野哲郎、長倉かすみ	スタジオ	16名

（4）　カフェトーク

日付	曜日	時間	イベント名	解説者	会場	参加者数
12月 7日	土	15:00-17:00	カフェトーク	池田政治	カフェ	38名
1月19日	日	15:00-17:00	カフェトーク	染谷滋	カフェ	25名

Ⅲ-3　ワークショップ等

日付	曜日	時間	イベント名	講師	会場	参加者数
7月25日	木	14:00-16:00	村田峰紀の《背中で語ろう》	村田峰紀	地下展示室	27名
8月22日	木	19:00-21:00	アートヨガ	渋木さやか	地下展示室	27名
11月29日	金	19:00-20:30	SHARE（シェア）	小野田賢三	カフェ	42名
3月15日	土	14:00-17:00	スケッチワークショップ「ほぼ津上さん@アーツ前橋」	津上みゆき	スタジオ他	12名
5月 5日	月・祝	14:00-17:00	白川昌生の＜誰でもアーティスト＞	白川昌生	スタジオ	20名

Ⅲ-4　アートスクール

（１）　アートスクールＳコース（サポーター養成講座）

アートスクールSコース「アーツ前橋を裏側からつくる〜たのしむ、ささえる、ひろがる〜」では、アーツ前橋やサポーターの活動内容を知り、実際に活動するに当たっての実践力を身につけていただくため、全4回の講座を開催した。

□担当：小田久美子

日付	曜日	時間	イベント名	講師	会場	参加者数
7月20日	土	13:00-16:00	アートスクールSコース第1回	髙山弘毅	中央公民館　56学習室	18名
8月25日	日	13:00-16:00	アートスクールSコース第2回	中島美江子	中央公民館　56学習室	24名
11月16日	土	12:00-15:00	アートスクールSコース第3回	松本由起	中央公民館　56学習室	17名
1月18日	土	13:00-16:00	アートスクールSコース第4回	浅香美鈴	中央公民館　56学習室	20名

（２）　アートスクールＦコース

本スクールを通じて地域密着型の情報発信のノウハウを学び、映画監督と一緒に撮影の基礎から撮影までを実際に行った。また、出来上がった映像をSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して、世界に発信するノウハウを講師と共に考えた。SNSを情報交換・共有の手段として最大限に利用することで、さらなる情報発信の可能性を考えた。

■新聞等

上毛新聞　　2013.07.02　《お知らせ》映画製作の手法学ぶ　前橋

2013.07.23　アートスクール開講　魅力を映像で発信　アーツ前橋

□担当：今井朋

日付	曜日	時間	イベント名	講師	会場	参加者数
7月21日	日	14:00-17:00	アートスクールFコース第1回	荻原貴男、増沢珠美	スタジオ	35名
8月31日	土	14:00-17:00	アートスクールFコース第2回	岩﨑隆、鹿島洋介	スタジオ他	22名
9月14日	土	13:00-17:00	アートスクールFコース第3回	藤橋誠	中央公民館　54学習室	22名
9月21日	土	13:00-17:00	アートスクールFコース第4回	藤橋誠	中央公民館　56学習室	19名
9月29日	日	14:00-17:00	アートスクールFコース第5回	藤橋誠、入澤健太郎	地下ギャラリー2	22名

Ⅲ-5　学校教育との連携

アーツ前橋の休館日などに行われる小中学校の見学プログラム「おしゃべりアートツアー」では、アーツ前橋の鑑賞サポーターがガイドとなり生徒たちと一緒に作品の前で対話をしながら鑑賞を行い、鑑賞サポーターの育成プログラムから、市内の小学校を対象に実際のツアーまでを開催した。

□担当：野崎美樹

日付	曜日	時間	イベント名		講師	会場	参加者数
6月26日	水	13:00-15:00	鑑賞サポーター研修	「オリエンテーション」		中央公民館 55学習室	鑑賞サポーター35人
7月16日	火	13:00-15:00	鑑賞サポーター研修	「ことばで鑑賞する」	齊藤佳代	アーツ前橋	鑑賞サポーター34人
8月 6日	火	13:00-15:00	鑑賞サポーター研修	「ガイドプログラムをつくってみよう」		アーツ前橋	鑑賞サポーター35人
8月28日	水	9:00-13:00	鑑賞サポーター研修 おしゃべりアートツアー	「おしゃべりガイドに挑戦」		中央公民館 55、56学習室 アーツ前橋展示室	城南小学校6年生94人 鑑賞サポーター36人
9月17日	火	13:00-15:00	鑑賞サポーター研修	「からだで鑑賞する」	小出和彦	アーツ前橋地下ギャラリー6	鑑賞サポーター32人
10月15日	火	14:00-16:00	鑑賞サポーター研修	「ガイドプログラムをつくってみよう」	郡司明子	中央公民館55学習室	鑑賞サポーター30人
11月 5日	火	14:00-16:00	鑑賞サポーター研修	「ガイドプログラムをためしてみよう」	郡司明子	中央公民館55学習室	鑑賞サポーター30人
11月27日	水	12:00-16:00	鑑賞サポーター研修 おしゃべりアートツアー	「おしゃべりガイドに挑戦Part.2」		中央公民館 55、56学習室 アーツ前橋展示室	桃井小学校6年生57人 鑑賞サポーター30人
12月18日	水		おしゃべりアートツアー			中央公民館 55、56学習室 アーツ前橋展示室	朝倉小学校3年生、 4年生70人 鑑賞サポーター6人
1月22日	水		おしゃべりアートツアー			中央公民館ホール アーツ前橋展示室	大胡小学校3年生70人 鑑賞サポーター6人
1月23日	木		おしゃべりアートツアー			中央公民館41、42アトリエ アーツ前橋展示室	宮城小学校4年生54人 鑑賞サポーター6人

Ⅲ-6　団体解説

日付	曜日	時間	団体	鑑賞者数
4月22日	月	15:00-	前橋工科大学　工学部建築学科	50名
4月23日	火	16:00-	前橋市議会　総務常任委員会	14名
6月15日	土	13:30-	日本大学　理工学部建築学科	50名
7月10日	水	14:30-	群馬大学　教育学部　美術教育講座	30名
7月12日	金	16:00-	滋賀県	2名
7月18日	木	14:00-	武蔵野音楽大学　音楽環境運営学科	40名
7月23日	火	14:30-	上田市	4名
8月12日	月	9:30-	群馬大学　教育学部　美術教育講座	11名
8月23日	金	16:00-	横浜国立大学大学院　都市イノベーション研究室	12名
9月15日	日	13:00-	AIJ文化施設小委員会（日本大学理工学部）	15名
11月 2日	土	12:00-	NPO法人AIT	27名
11月14日	木	13:00-	本庄商工会議所	3名
11月15日	金	11:00-	清心幼稚園	36名
11月16日	土	9:00-	上毛新聞社編集局文化生活部（週刊風っ子）	20名
11月26日	火	13:30-	一般公募による市民（市政発信課）	30名

日付	曜日	時間	団体解説	鑑賞者数
12月 6日	金	14:30-	前橋・高崎連携事業モニターバスツアー	47名
12月19日	木	13:00-	浜松市美術館	2名
1月 7日	火	17:00-	明和短期大学　子ども学科	35名
1月 9日	木	11:20-	国土交通省	4名
1月14日	火	13:00-	東京大学　文学部大学院　人文社会系研究科	9名
1月16日	木	10:30-	見附市	11名
1月17日	金	11:00-	前橋商工会議所　文化情報部会	9名
1月17日	金	11:00-	前橋工科大学　総合デザイン工学科	45名
1月17日	金	15:00-	前橋工科大学　総合デザイン工学科	35名
1月23日	木	11:00-	清心幼稚園	26名
1月26日	日	13:30-	なでしこ会	14名
2月21日	金	12:50-	前橋高等養護学校	10名
3月25日	火	13:30-	前橋文学館友の会	13名

Ⅲ-7　出前講座

日付	曜日	時間	イベント名	講師	会場	参加者数
7月 8日	月	9:30-	明寿大学　講座学習	住友文彦	中央公民館ホール	371名
7月 9日	火	19:00-20:00	バラの会	吉田成志	桑町会館	17名
9月12日	木	9:30-11:30	一八会	今井朋	中央公民館　53学習室	20名
2月 5日	水	13:30-15:00	大胡地区生涯学習奨励員連絡協議会	今井朋	大胡シャンテ	24名

Ⅲ-8　インターンシップ

日付	参加大学	学科	人数
8月27日- 8月31日	群馬大学	社会情報学部　情報行動学科	1名
8月27日- 8月31日	立教大学	文学部　文学科　英米文学専攻	1名
9月 2日- 9月20日	東京大学	教養学部　文科一類	2名

Ⅲ-9　サポーター活動記録

日付	内容
4月20日	第5回サポーターミーティング
5月18日	第6回サポーターミーティング
6月24日	第7回サポーターミーティング
7月 1日	アーカイヴ整備
7月 2日	アーカイヴ整備
7月 5日	アーカイヴ整備
7月 7日	アーカイヴ整備
7月12日	アーカイヴ整備
7月13日	第8回サポーターミーティング

日付	内容
7月14日	アーカイヴ整備
7月19日	アーカイヴ整備
7月21日	アーカイヴ整備
7月26日	アーカイヴ整備
7月27日	ガーデニングプロジェクトイベント
7月28日	アーカイヴ整備
8月 2日	アーカイヴ整備
8月 3日	パフォーマンス公演補助
8月 4日	アーカイヴ整備

日付	内容
8月 9日	アーカイヴ整備
8月11日	アーカイヴ整備
8月16日	アーカイヴ整備
8月18日	アーカイヴ整備
8月23日	アーカイヴ整備
8月24日	第9回サポーターミーティング
	ガーデニングプロジェクト作品メンテナンス
8月30日	アーカイヴ整備
9月 1日	アーカイヴ整備
9月12日	アーカイヴ整備
9月17日	アーカイヴ整備
9月19日	アーカイヴ整備
9月22日	第10回サポーターミーティング
	音楽コンサート運営補助
9月23日	アーカイブ整備/広報物発送
9月24日	広報物発送
9月25日	アーカイブ整備/広報物発送
9月26日	広報物発送
9月28日	サポーター対象の地域アートプロジェクト説明会
10月18日	開館展作品制作補助
10月19日	開館準備作業
10月20日	開館準備作業
10月21日	開館準備作業
10月22日	開館準備作業
10月23日	第11回サポーターミーティング
10月24日	開館準備作業
10月25日	開館展レセプション運営補助
	マチリアルプロジェクト受付・監視
10月26日	開館展作品案内
	地域アートプロジェクト受付・監視
10月27日	開館展作品案内
	きぬプロジェクトトーク運営補助
	マチリアルプロジェクト受付・監視
10月28日	アーティストトーク補助
	開館展作品案内
	マチリアルプロジェクト受付・監視
11月 2日	開館展作品案内
11月 3日	ダイニングプロジェクトトーク運営補助
	開館展作品案内
11月 4日	ダイニングプロジェクトトーク運営補助
11月 5日	アーカイヴ整備
11月 9日	アーティスト・トーク補助

日付	内容
	マチリアルプロジェクト受付・監視
11月10日	マチリアルプロジェクト受付・監視
11月12日	アーカイヴ整備
11月19日	広報物発送作業
11月23日	きぬプロジェクトトーク運営補助
	きぬプロジェクトワークショップ運営補助
12月 3日	第1回サポーター交流会(お茶会)
12月 4日	開館展記録撮影補助
	第2回サポーター交流会(お茶会)
12月 7日	開館展カフェトーク運営補助
12月 8日	ダイニングプロジェクトワークショップ運営補助
	開館展アーティストトーク運営補助
12月10日	アーカイヴ整備
12月13日	広報物発送作業
12月14日	地域アートプロジェクトモニターツアー
12月24日	アーカイヴ整備
1月19日	第3回サポーター交流会(お茶会)
1月21日	アーカイヴ整備／広報物発送作業
1月22日	おしゃべりアートツアー運営補助
	広報物発送作業
1月23日	おしゃべりアートツアー運営補助
1月24日	ダイニングプロジェクトイベント準備
1月25日	ダイニングプロジェクトイベント運営補助
1月28日	アーカイヴ整備
2月 4日	アーカイヴ整備
2月10日	広報物発送作業
2月11日	広報物発送作業
2月12日	広報物発送作業
2月13日	広報物発送作業
2月14日	広報物発送作業
2月18日	アーカイヴ整備
2月25日	アーカイヴ整備
3月15日	ArtMeets01展ワークショップ運営補助
3月16日	白川昌生展アーティストトーク運営補助
3月18日	アーカイヴ整備
3月19日	第12回サポーターミーティング
3月25日	アーカイヴ整備

Ⅲ-10　メンバーシップ（2014年3月31日現在）

（１） 会員数

一般会員：68名（男39名、女29名／県内64名、県外4名）
ペア会員：35組
賛助会員：2名
法人会員：3者

（２） 会員対象事業

メンバーシップ交流イベント　春―音楽とカフェの時間―
□日　時：2013年3月29日（土）16時30分から18時30分
□場　所：ROBSON COFFEE アーツ前橋店
□料　金：メンバーシップ会員の方：無料（1ドリンク付）
　　一般（非会員の方）：1ドリンクオーダー制
□出演者：石坂亥士（神楽太鼓奏者）、DJ HIROAKI（PSYCHOGEM/BLACKOUT/ene）
□参加者：メンバーシップ会員：30名、一般参加者：29名　　計　59名

Ⅲ-11　刊行物

（展覧会関連のものは、各展覧会の項に記載）

□&Arts アンドアーツ

第０号　2014年3月31日発行
特集　アーツ前橋の楽しみ方
アーツ前橋　館長　住友文彦
アーティスト特別インタビュー　津上みゆき
アーツ前橋メンバーシップ法人会員　中島信之
「アーツ桑町」利用者　新井隆人
カフェ利用者　橋本薫
鑑賞サポーター　新井和枝
アーツ前橋サポーター　林恵津子
開催中の展覧会のご案内
アーティストコラム　山極満博
メンバーシップのご案内

Ⅳ 所蔵資料

Ⅳ-1　美術作品

（１） 平成25年度収蔵作品

2014年1月22日（水）にアーツ前橋にて平成25年度前橋市収蔵美術品専門委員会を開催した。油彩画34点（購入5点）、彫刻2点（購入2点）、日本画2点、その他8点（購入3点）の計46点が審議され、全作品の収蔵を決定した。寄贈作品36点に関しては、平成26年度受け入れ予定。

各作品データは、以下の順に記載した。
・作者名（生没年）
・作者名　アルファベット
・制作年
・技法、材質
・寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行）
・初出展覧会および受賞記録
・収蔵方法

【油彩画】
有村真鐵（1929-）
ARIMURA Shintetsu
明日
1992（平成4）年
油彩、カンバス
149×228cm
自由美術展（1992年）
購入

金子英彦（1923-2010）
KANEKO Hidehiko
ニッポン ’64
1964（昭和39）年
アクリルグアッシュ、カンバス
162×130.3cm
毎日現代美術展（1964年）
購入

金子英彦（1923-2010）
KANEKO Hidehiko
退屈する人
1965（昭和40）年
アクリルグアッシュ、カンバス
162×130.3cm
群馬アンデパンダン
購入

金子英彦（1923-2010）
KANEKO Hidehiko
予感
1967（昭和42）年
アクリルグアッシュ、エアキャップ、カンバス
130.3×162cm
購入

東宮不二夫（1926-2013）
TOMIYA Fujio
黒い鳥
1975（昭和50）年
油彩、カンバス
116.7×91cm
第1回東京展（1975年）
第19回安井賞展（1976年）
購入

【彫刻】
三輪途道（1966-）
MIWA Michiyo
普通のありよう－秀真
2009（平成21）年
檜、漆、白土、彩色
80×38×23cm
「三輪途道展―普通のありよう」（2009年、ガレリア　グラフィカ／東京）
購入

三輪途道（1966-）
MIWA Michiyo
普通のありよう－雅舞蕗
2010（平成22）年
檜、漆、白土、彩色
80×39×31cm
「三輪途道展―普通のありよう」（2010年、画廊翠巒／群馬）
購入

【その他】
小野田賢三（1961-）
ONODA Kenzo
聞こえる？
AP＋1/3
2013（平成25）年
サウンド・インスタレーション

サイズ可変
アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ」展
購入

加藤アキラ（1937-）
KATO Akira
REPORT-EA9
1966（昭和41）年
アルミ、ワイヤーブラシ、塩ビ、エナメル
91×91×9.8cm
「空間→物体：光←時間」
購入

加藤アキラ（1937-）
KATO Akira
EA-28
1960年代
アルミ、塩ビ、エナメル
90×90×9cm
「空間→物体：光←時間」
購入

（２） 修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	修復者	修復内容	期間
近藤嘉男	分有の鳥	油彩、カンバス	油彩	有限会社修復研究所21	卵・幼虫・黴胞子除去、充填整形、補彩、保護膜塗布	2014年3月8日から3月10日

Ⅳ-2　図書資料

平成25年度　収蔵図書

区分	冊数
図書	614
展覧会カタログ	1299
逐次刊行物	527
映像資料	9
合計	2449

Ⅴ 運　営

Ⅴ-1　アーツ前橋条例

アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成２５年６月２５日
条例第３５号

（設置）
第１条　美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

（名称及び位置）
第２条　アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。
（１）名称　アーツ前橋
（２）位置　前橋市千代田町五丁目１番１６号

（事業）
第３条　アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。
（１）芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。
（２）作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。
（３）作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。
（４）多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。
（５）芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。
（６）前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

（企画等を行う組織）
第４条　アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。
２　前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

（職員）
第５条　アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

（観覧料）
第６条　アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第８条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

（特別利用）
第７条　学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
２　市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

（利用等の制限）
第８条　市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれ

かに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
（1）公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
（2）アーツ前橋の施設、附属設備（第１１条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
（3）その他管理上の支障があると認められるとき。
2　市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）
第９条　納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）
第１０条　市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）
第１１条　利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）
第１２条　この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則
1　この条例は、平成２５年７月１日から施行する。
2　アーツ前橋の観覧料は、第６条の規定にかかわらず、平成２５年１０月２５日までの間は、無料とする。

別表（第６条関係）

区　　分		観覧料（１人１回につき）	
		個　人	団　体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	１００円	８０円
	小学生・中学生・高校生	無料	
特別の企画による展示を行っている場合		１，５００円以内で市長が定める額	

摘要
1　「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
2　「小学生・中学生・高校生」とは、１９歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
3　小学校に就学するまでの者は、無料とする。
4　団体とは、１０人以上のものをいう。

Ⅴ－２　アーツ前橋運営評議会

（１）　委員

氏　　名	所　　属	
井出　洋一郎	府中市美術館館長	（2014年3月6日から）
片倉　正彦	元・前橋文化推進会議委員	
小島　秀薫	前橋・高崎文化連携事業委員会副委員長	
巣山　健	高崎市美術館名誉館長	
瀬谷　ルミ子	国際協力NGO理事長	
谷　新	宇都宮美術館館長	（2013年9月26日まで）
南嶌　宏	女子美術大学教授	
結城　恵	群馬大学教育基盤センター教授	

（２）　アーツ前橋運営評議会開催記録

第1回　7月16日　前橋市中央公民館55学習室　委嘱状交付、報告事項、委員長及び副委員長の選出、協議事項
第2回　10月 9日　前橋市中央公民館57学習室　報告事項、協議事項、その他
第3回　3月 6日　前橋市中央公民館53学習室　報告事項、協議事項、その他

（３）　アーツ前橋運営評議会設置要綱

（設置）
第１条　アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

（組織）
第２条　評議会は、委員７人以内で組織する。
２　委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

（任期）
第３条　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）
第４条　評議会に委員長及び副委員長各１人を置き、委員の互選により定める。
２　委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。
３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）
第５条　評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。
２　評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
３　評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（意見の聴取等）
第６条　評議会は、必要があると認めたときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（庶務）
第７条　評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

（その他）
第８条　この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
この要綱は、平成２５年７月１日から施行する。

Ⅴ-３　アーツ前橋収蔵美術品専門委員会

（１）委員

氏　　名	所　　属
上村　清雄	千葉大学教授
川口　直宜	美術史家
染谷　滋	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館館長
真室　佳武	東京都美術館館長

（２）前橋市収蔵美術品専門委員会設置要綱

（設置）
第１条　前橋市の所蔵美術品等（以下「美術品」という。）を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

（審議事項）
第２条　専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。
（１）美術品の評価に関すること。
（２）美術品の選定に関すること。
（３）その他美術に係る専門的事項に関すること。

（組織及び委員）
第３条　専門委員会は、４人以内の委員をもって組織する。
２　委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。
３　委員の任期は、２年とし、再任を妨げない。
４　市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

（委員長）
第４条　専門委員会に委員長を置く。
２　委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。
３　委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。（会議）

（会議）
第５条　会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

（部会）
第６条　委員会に、必要に応じて部会を置くことができる。

（守秘義務）
第７条　委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

（庶務）
第８条　専門委員会の庶務は、前橋市政策部文化国際課アーツ前橋において行う。

（雑則）
第９条　この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附　則
この要綱は、平成１９年７月１日から施行する。
附　則
この要綱は、平成２６年１月１日から施行する。

Ⅴ－４　寄附

氏　　名	品　　目	備　　考
前橋北ロータリークラブ	金500,000円	美術関係書籍を購入した。 平成24年度寄付。

Ⅴ－５　職員名簿（2013年4月1日から2014年3月31日）

館長	住友　文彦	2013年7月1日から
副館長（副参事）	鵜野　明広	2013年7月1日から
アーツ前橋担当係長	山本　卓哉	
副主幹	小林　智之	
主任	根岸　喜代志	
主任	山口　好久	
主任	深代　実沙	
学芸員	辻　瑞生	
学芸員	吉田　成志	
学芸員	今井　朋	
学芸員	野崎　美樹	
学芸員	小田　久美子	
学芸員	家入　健生	

アーツ前橋年報　No.1
2014年10月発行

発行者　アーツ前橋
〒371-0022　群馬県前橋市千代田町5-1-16
TEL　027-230-1144
MAIL　artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp
URL　http://artsmaebashi.jp
フォトクレジット
©KIGURE Shinya p.7、p.10、p.21、p.23、p.30、p.33、p.37、p.39、p.41、p.43、p.44